

2015 年度森基金研究成果報告書

過疎地域における空間挿入型家具を用いた自律的地域活性化に関する研究

政策・メディア研究科 修士課程 1 年

藤咲 潤

81524898

□研究概要

近年、既存の構造物や都市空間など既存環境の有効活用が重要視されている。その背景として、都市の低炭素化に伴う新築工事の減少、人口減少に伴う空き家率増加によるスクラップビルドから建築ストック活用への促進、さらには既存環境の転用による非日常的感觉を付加価値として利用した商業的活用の普及などがある。この既存環境の有効活用を手段として、過疎地域における自律的活性化を目指す。本研究では、滋賀県長浜市田根地区を対象とし、既存環境の有効活用の補助として空間挿入型家具の設計そして製作を地元の高校生とワークショップにて実施。そして住民を含めた活用方法の実践によって、そこから得た既存環境に対する新しい視点や認識を共通意識として構築し、住民による自律的な活用による地域活性化を促すこととする。

□実施内容

1. 滋賀県立虎姫高等学校サマーセミナーの一環として、高校生との映画+家具製作ワークショップの実施
2. 田根地区全 14 集落にて、高校生と製作した映画と家具を用いた住民参加型野外上映会の実施
3. 上映会時の空間変化、意識調査アンケート結果などをまとめた活動成果報告冊子の製作



ワークショップ前に高校生と古民家の活用方法を考える



ワークショップでの撮影風景



既存の遊具を利用した上映会風景



製作した活動成果報告冊子と映画+メイキングDVD



2015年夏

『田根ザシネマ』虎姫高等学校、地域づくり協議会、慶應義塾大学小林博人研究会共同企画「クーラーよりもクールな体験！」映画プロジェクト
デユース（企画＋出演＋撮影＋編集）／映画上映会場デザイン／設計＋製作＋設営／初日舞台挨拶表彰式『KASO NOTE』：出演／虎姫高校学生、田根地区住民のみなさま監督／虎姫高校学生、慶應義塾大学大学生、製作／虎姫高校、まちづくり協議会『KASO NOTE』DVD本編＋メイキング挿入同封冊子内容…田根ザシネマ全日程・脚本・絵コンテ・WS内容説明・撮影風景写真・田根ザキャラバン上映風景写真・全十四集落別シネマキャラバンアンケートまとめ等々盛りだくさん収録！



目次 / Contents

004

はじめに

-Introduction-

006

夏の活動日程

-Schedule-

008

田根について

-About Tane-

009

事前ワークショップ

-workshop with Torahime-

013

脚本・絵コンテ

-Script/Storyboard-

035

田根ザシネマ

-Tane the Cinema-

053

田根ザキャラバン

-Tane the Caravan-

094

おわりに

-Ending-



はじめに

私たち小林博人研究会は、建築設計やまちづくり、地域コミュニティなど、様々な視点から都市の研究を行っています。

そして、滋賀県長浜市田根地区（以下、田根と省略）での活動は今年で十年目になります。

年々過疎化が進んでいる田根には、

伝統的な建築様式の民家が数多く残され、現代社会で失われつつある、日本の原風景が広がる

貴重なまちです。

二〇一五年夏、滋賀県立虎姫高校の学生た

ちと映画の撮影・編集、そして上映会場空間の

デザインを組み込んだワークショップを行いま

した。作製した映画「KASO NOTE」と、移動

式野外映画祭「田根ザシネマキャラバン」を通

じて、田根の過疎化や空き家問題を考えるきつ

かけづくりに挑戦しました。

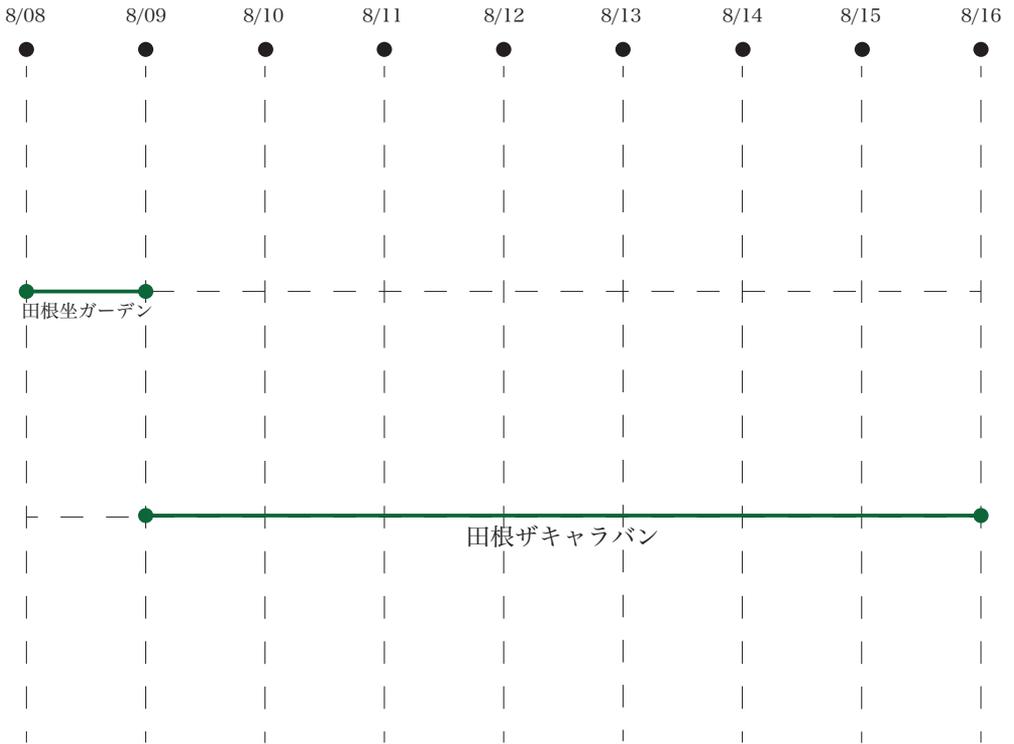


私たちが活動拠点を置くきゃんせの場

夏の活動日程

7/30	7/31	8/01	8/02	8/03	8/04	8/05	8/06	8/07
●	●	●	●	●	●	●	●	●
事前 WS						田根ザシネマ		
	キャラバン場所決め							





田根地区





事前ワークショップ

七月末に、顔合わせを兼ねた事前ワークショップを高校生と行い、古民家を実際に活用するとしたら、どのような使い方ができるかを彼らと一緒に案だしました。

高校生らが空き家の古民家で
したいこと、やれたら楽しいと
思うことを自由に考えてもらい、
撮影当日の改修シーンで再現し
ました。





三つのグループに分かれて古民家の改修案について話し合う



脚本・絵コンテ

田根の現状や地域のことを少しでも理解したり、考えたりするきっかけになるようなテーマを設定しました。様々な案や意見を出し合い、田根の空き家問題について取り扱った「KASO NOTE」を絵コンテから製作し、脚本化しました。

田根の自然や、名所が画面いっぱいになる作品となっています。撮影当日、絵コンテや脚本とは異なる演出効果にするなど、臨機応変に対応しました。



「KASO NOTE」

■登場人物

- ・ 高校生 ∴ 主人公
- ・ 友達たち
- ・ 村人たち
- ・ 渋谷の通行人
- ・ 渋谷でできる友達
- ・ 空き家の声 (ナレーション)
- ・ KASONOTE (無声ト書きで書く。)

「KASO NOTE」

オープニング

田根のパノラマ画から視点が横に移動して、友人と高校生Aが画面に上手から入ってくる声がつすらすら遠で聞こえる。

皆でかくれんぼしているシーン

全員…じゃんけんぽい！

じゃんけんに負けた人を追って行って(カメラアップ)

鬼…1、2、3、4、5、6、7、8、9、10

(サビだけとかの音大きく、カメラ引き気味に、タイトル)鬼立ち上がると同時にタイトル消える。みんな散らばって行くように画面からはけていく。

第一章 きゃんせの場に行き、渋谷に行く

場所…きゃんせの場

田根の自然の風景○植谷邸の引き画とともに

ナレーション(空き家の声)…さみしいな。誰かこないかな？

かくれ場所を探している高校生A

高校生A…なんかいいとこないかな

角を曲がり、坂を下りていき、ちょうど良い隠れ先として、

きゃんせの場をみつげる。

「ガラガラ」

ナレーション…お？

きゃんせの場を散策しているときに

高校生A…なんだここ。絶対ばれないな。きつたねえし。

よし！かくれよう

高校生A…2階に上がっていく(図とともに)

ナレーション…ほうほう。高校生か、珍しい…、よし！

いつちよやるかな

机の下に隠れる

高校生の横顔もしくは後ろを一緒に机の下から撮った図で

うえからノートの落下を一瞬見る

KASONOTE:PANI!

高校生A…わっ…!

KASONOTE:「ようこそ」

高校生A…えっ。なにこれ…。

高校生A…びつくりしたな。なんなんだよこれ。ふうう。

ナレーション…よし。ほれ！

KASONOTE:へろーん

高校生A…わああ！

高校生A…まじかよ、なんだよ今の…!!

KASONOTE:「ここには誰もいないんだよ。だから使ってくれよ。」

KASONOTE:「へろーん」

高校生 A:「うわっ！」

KASONOTE:「やうーぎみにらっつるよ。」

高校生 A:「まじかよ、……。」

KASONOTE:「へろーん」

高校生 A:「もうう。なんなんだよ。」

KASONOTE:「まじだよ。ほら、つかってくれよ。」

高校生 A:「えっ。やだよ。」

KASONOTE:「へろーん」

高校生 A:「まただ……。」

KASONOTE:「空き家とかどんどん増えるんだよ！」

高校生 A:「ええ、関係ねえし。きつたねえし。こんななんもないところだね。つてかそもそも俺大学は東京でてくつて決めてるし。」

あああはやくでていきてええな、……、こご。

ナレーション:「ううううん、……、なんだと???!」

KASONOTE:「へろーん (早く)」

なれーしょん:「まったくけしからん！」(高校生 B の気だるそうな

ノート、見下ろし顔とともに)

KASONOTE:「そんなに行きたいならいくがよい？」

高校生 A:「えっ? (すこし声に反応したかのように)」

パッ!

場面が変わり、友達が高校生 B を探す。田根

友達 C:「高校生 B、見た? いないんだけど」

みんな:「ざわざわ、まじか」

友達 D:「どこいったんだろうな、」

友達 E:「なにしてたんだよあいつ、」

友達 F:「迷子とかじゃねえよな」

友達 G:「探しに行くつか?」

友人たち:「よし! (みんな各方向へはけ)」

ぐるぐるぐるぐる

高校生 B:「わあああああああああああ……!!!!!!」

とん!

渋谷に着く

高校生 B:「わっ! すごい人……これつてあのスクランブル

交差点? え?! ここ渋谷!!!!? まじか……。すげえええ

以下、渋谷を楽しむリアクション

余った人員で、渋谷の若者を演技

体横にしてスクリーンにうつしてやる

第二章 渋谷・高校生▷を探索する

場所…渋谷（スクリーン前面撮影）、田根の風景

（シーン転換、田根へ）

友達が、高校生▷がかくれんぼ中にいなくなったことを不審に思い、村中を探索する。

（田根の様々な景色を写す）

いろいろなところを巡り、村人にインタビューを行うが、手がかりが見つからない。

友達▷…すみません！

友達△…△君みてませんか？

地元の人…いや、みてないなあ。

友達▷…そうですか…、

地元の人…西池の方とかにいるかもね？

みんな走る。探すは合間のシーン走ってるシーンの間にも

高校生▷が渋谷を楽しむ映像を田根と関連している場所で

じゃんけんした場所にもどり、そこから集まって移動。

きゃんせの場を発見し、入ってみる。

「ガラガラ」

ナレーション…お？！今日は若いのがよくくるな〜！よし！

友人たち…きつたね〜。なんだここ。

本当にいるのか？とか言いながら進む。

友人たちも釣られるように2階へ

友人たち…お、二階もある。あがつてみるか、お前いけよ！

上がりきる

友人たち…あれ…、？おいあれ。

友人たち…あつ！（二人ずつ画面に入り込んでいつて）

友人△…あいつの服じゃん！！

友人□…ここにきてたつてことだよな…。

友人○…おい！これみるよ！

服のアップ。

ナレーション…お、あの子の友達か？

友人○…こつちこつち！これだよ！（いつてるやつの後ろ姿の図）

友人たち…なにになに？ぞろぞろ

KASNOTE:「いらつっしやい」

友人たち…な、にこれ…、？

KASNOTE:「ベローン

高校生たち…あつ。

KASNOTE:「そうだな…、ここが東京にも負けないくらい賑

やかな場所になつたら、あの子も帰つてくるかもしれないね。」

地元の問題なんとかしてくれ？」の状態で開かれている。

高校生▷…うわ…、。なんだこれ。おれにいつてるのか？きもち

わる。（カメラ、ノート目録）

高校生 A: どうする？

高校生 B: やるしかないっしょ。

高校生たち: よし！やるか。

相談↓しよぼいのからスタート↓

ナレーション: お、案外はりきってやってるな。

家族や地域の人も増えてくる↓めっちゃ賑やかに。。。

ナレーション: お。〇さん！てっだいにきてくれてのか。

改修↑とか心とかにしないで続きで賑やかな空間にしてい

合間合間に高校生▷東京での生活をうつつ。友達できてたり。

ナレーション: おお、ちよつとにぎわってきてるなあ。

合間で

ぞうきん(ごしごし(うなじズーム)

高校生▷: 顔あげると爆笑

渋谷の友人とべちゃべちゃ

高校生▷: 田根つてとこからきたんだ、

渋谷民:へえ。すげえじゃん。なにがあんの？

高校生 A: え、自然？

持っているアイスコーヒーにズーム

住民: お！なにやってるん？！

改修か？そこはごおしたらいよいよ！

改修再びスタート

どんどん人が増えてもりあがっていく。

ナレーション: おお。すごいな。にぎわってるな。

第三章 再びの渋谷・高校生▷の掃還

場所: きゃんせの場

夜の渋谷を一人歩く高校生▷

田根のひとたち: たのしそうな改修姿

ナレーション: おお。すごいな。こんなにになるとはな、。こんなに楽し

そうにみんなで作ってくれて。そろそろいいか。よし。

ナレーション: あそこはあつたかい人ばかりだな。もどつていいぞ。

高校生▷: えっ？(声が聞こえたかのような反応で)

(グルグルの背景 飛ばされる)

高校生▷: わーーーーー!!!!!!

きゃんせの場にシーン転換、改修をどんどん進めてもりあがっている。

上から高校生▷ふつてくる

「どーーーーーん!!!」これも文字でだせたら

みんな: えっ、(振り向きざま)

高校生▷: いたたたた。

みんな: かえってきたぞ!!!心配したんだぞ!(駆け寄る)

高校生▷: え、みんな?!ここどこ?!

高校生友達: はっ?!お前がいきなり消えたからうちらが頑張つて

改修してたんだし!心配したんだぞ。

高校生 A：えっ？ここ俺が最初に隠れてたところ？

まじか！！すげええ。すげえじゃん。

高校生友達：はああ？なにいつてんだよ。

高校生 A：いやさ、渋谷にいつちやつてさ！

でもここもすげえ人いんな？もりあがつてんじゃん

みんな：お前のせいだよー！！！！

盛り上がりの中引いていく

KASONOTE：「ローン」「ありがとう。」

きんせの場から引き画どんどんひいて建物の外装と

風景になるくらい。

第5章 エンディング

場所：田根の風景

別の空き家に映像が移る

引きの画から音だけどーん！！

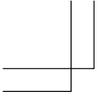
第二 KASONOTE 発見者の声：わあああ！あれ、

なにこれ、。

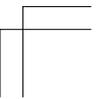
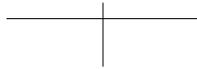
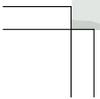
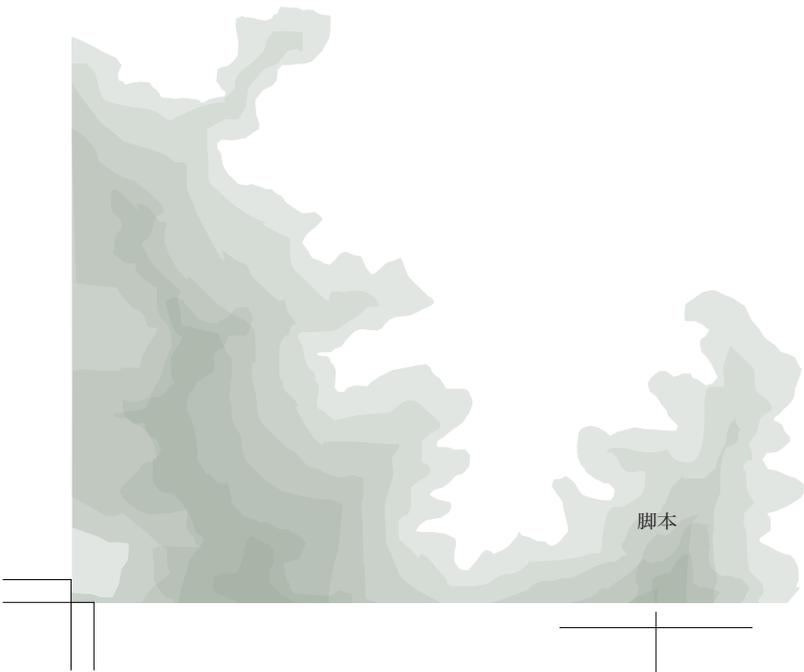
KASONOTE：「ふん。」「ふんっか。」

エンドロール

Fin

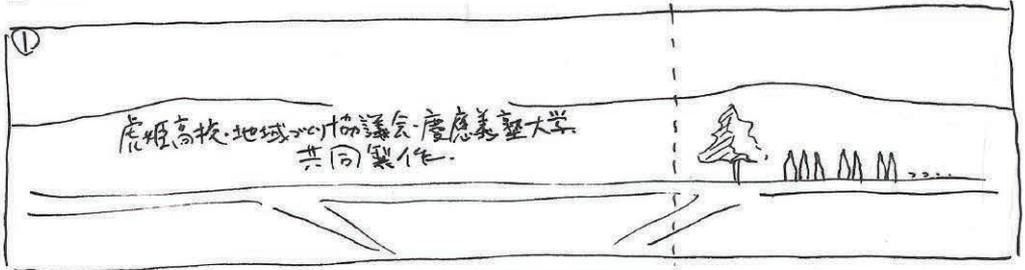


021



KASONOTE

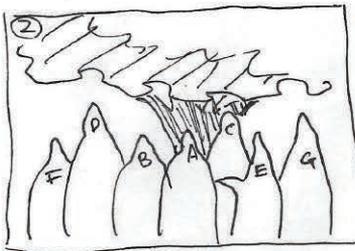
SCENE ① : OPENING



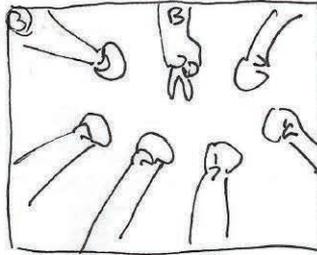
田根風景 11/132

OP 音楽

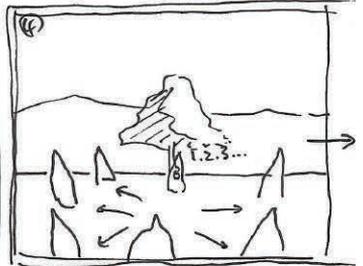
→ 空上人物追加 画面に入らぬ
(声が遠くで聞こえている)



ここにはうか

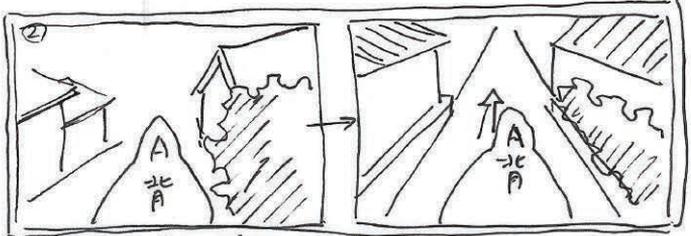
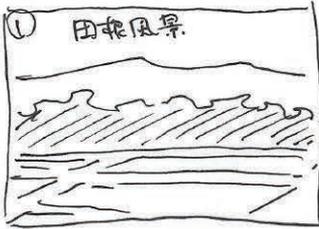


ニヤン・ヤンポン!



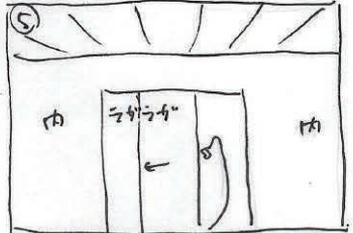
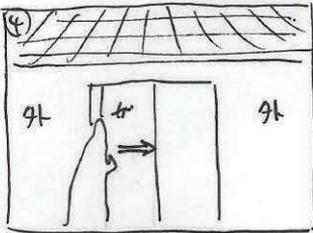
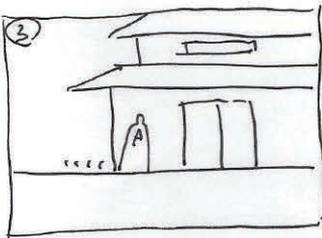
ズームアウトしてロゴ・タイトル
(音楽・短いの)

SCENE 1 : AがKASONOTEを見つけて飛はれるまで

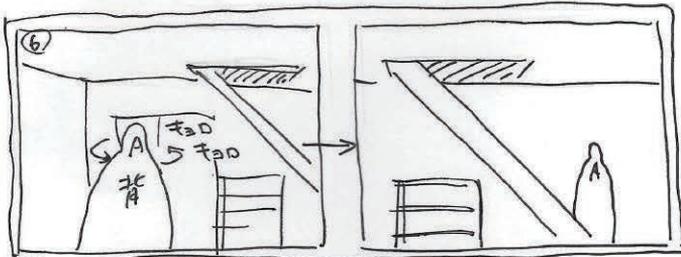


① 「イミいな〜
誰かこないかな〜」

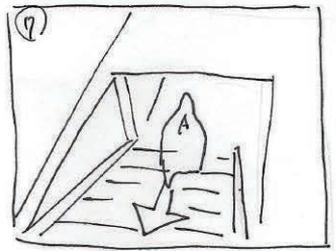
カメラ: Aを後ろから追う



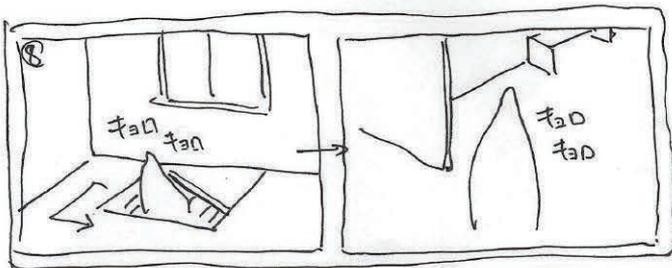
⑥ 「お？」



カメラ: Aを後ろから 階段を登り始めたところまで

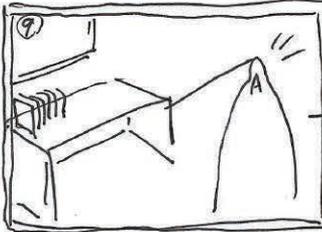


登り続く

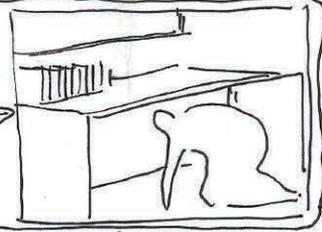


カメラ: 固定で首振りしてAを追う。

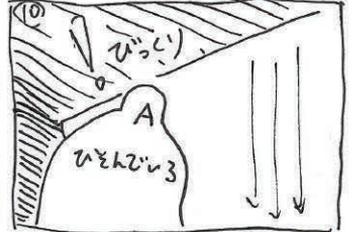
3



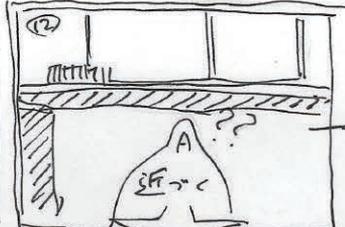
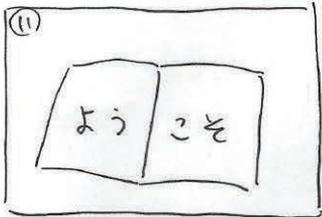
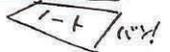
机の下のスペースを見つける。



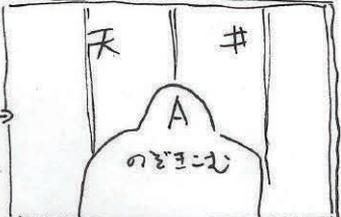
もてる



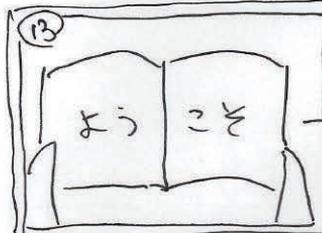
A「わろ!!」



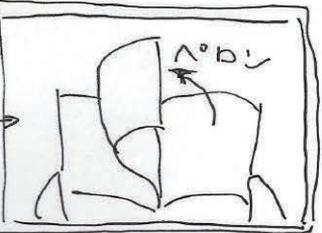
カメラ: 1-1の視点から



1-1を指し立ち上がる様にカメラを指し立ち上がる。



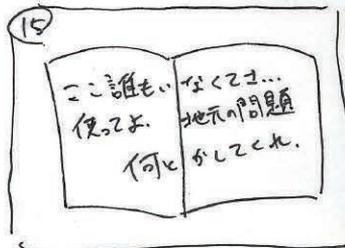
カメラ: Aの視点で1-1を指す方向から机の方向へ体向を変えさせる



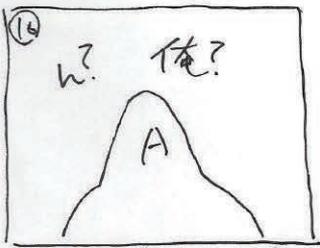
おどろいて1-1を落とす



カメラ: 1-1視点...

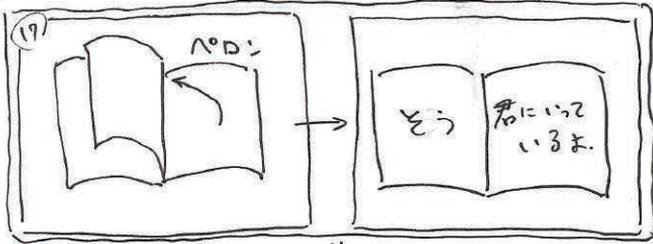


カメラ: Aの視点

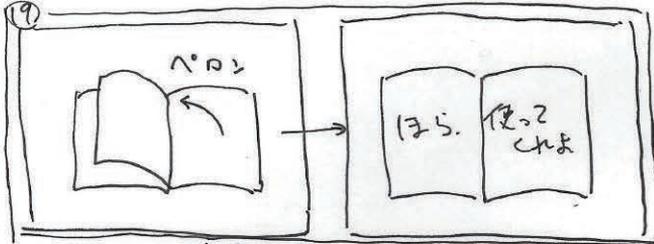
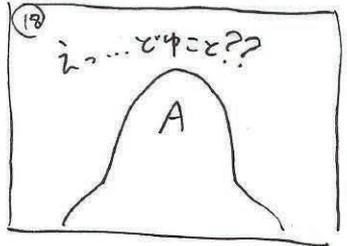


A「何これ俺はいってる?」

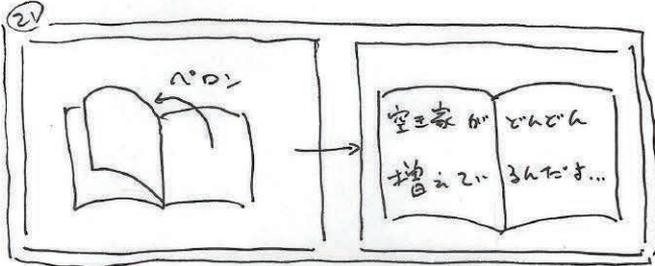
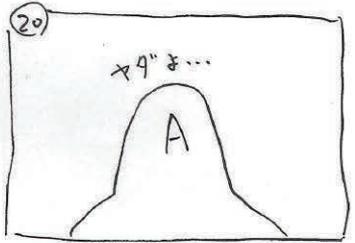
4



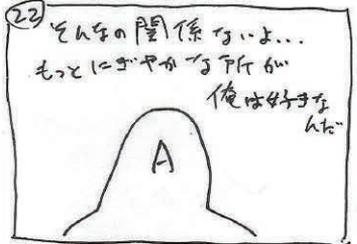
A「うわ!!」



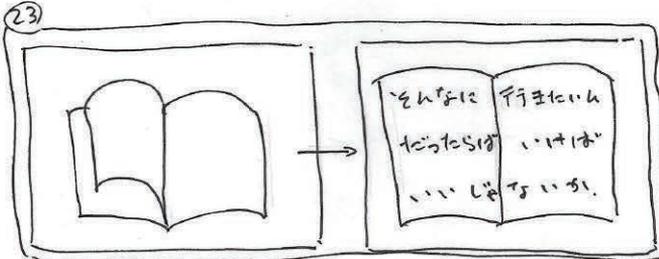
A「うわ~~~~」



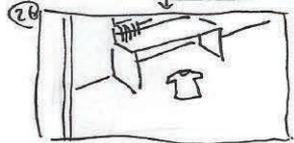
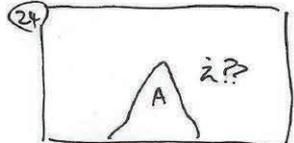
A「またか...」



②「...またか?!!!」

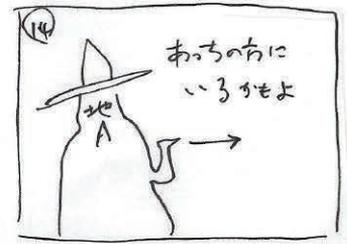
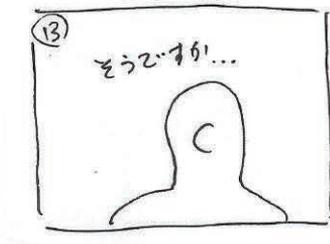
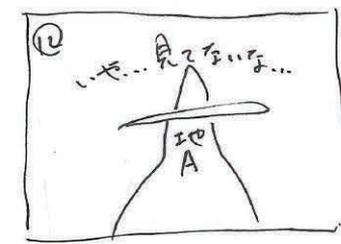
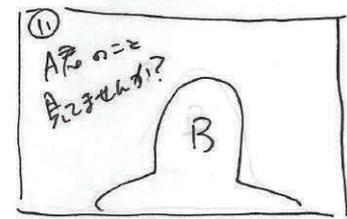
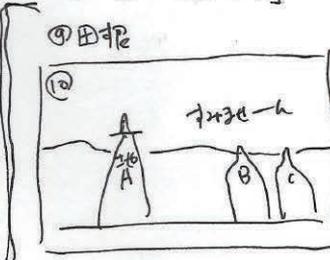
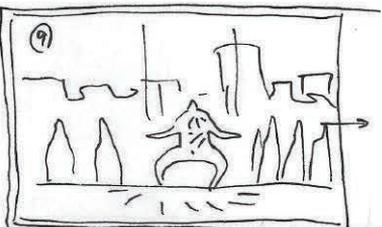
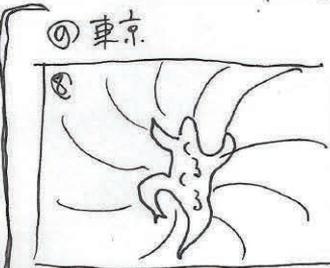
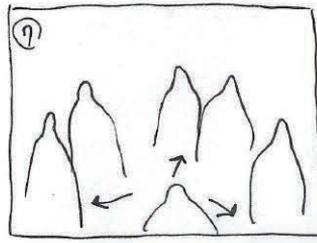
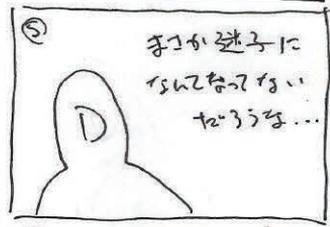
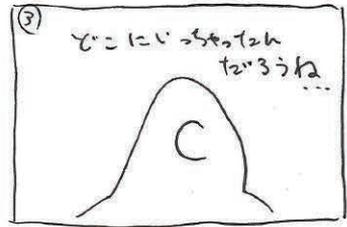
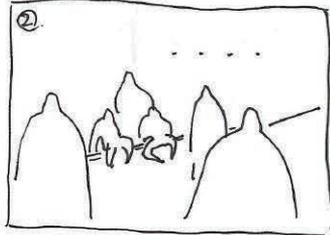
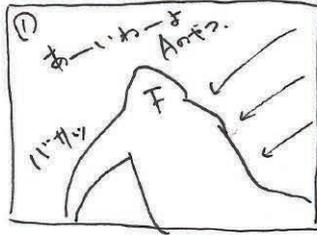


③ 文章を読み上げる

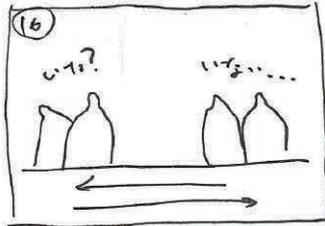
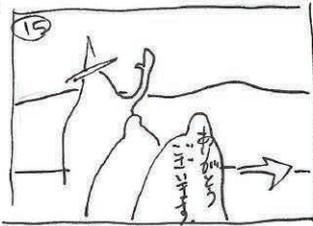


5

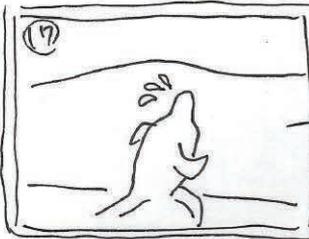
SCENE 2: 友達が地域を探し回る。



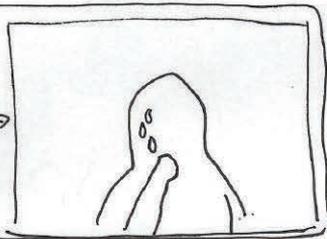
6 /



× 友達の教.



走ってる様子

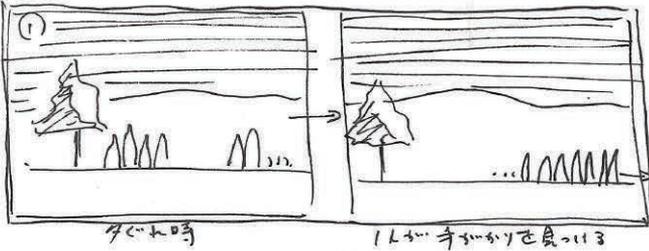


顔のアップ



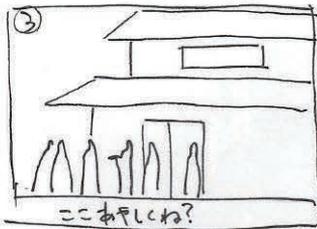
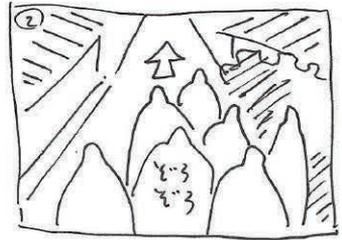
Aは東京で学んでいる。

7 / SCENE 3: 誰を見つはしたか → 古民家に入り、1人を見つはす。

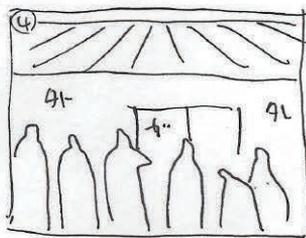


夕べの時

1人か、寺か、かきつはした



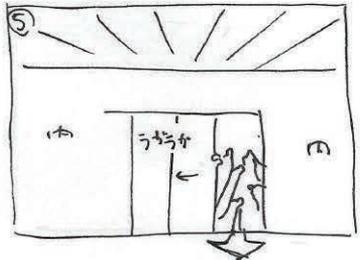
ここおかしな?



外

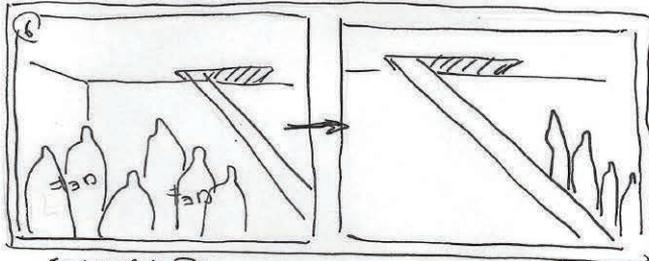
外

外

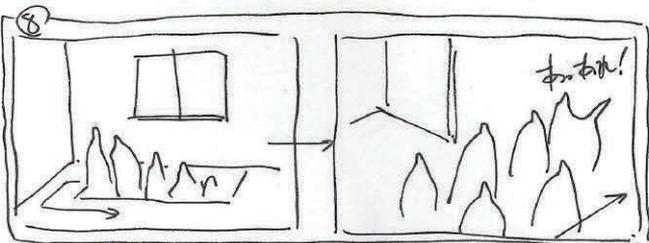
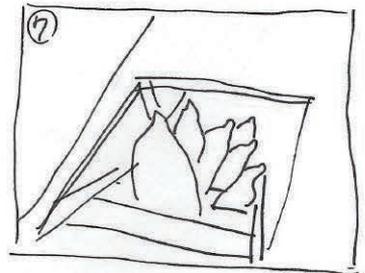


内

内



SCENE 1 と同じ

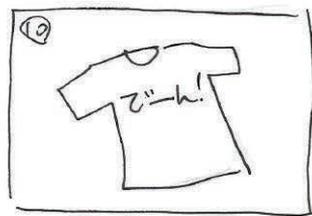


SCENE 1 と同じ

何かを見つはしたか、かきつはした



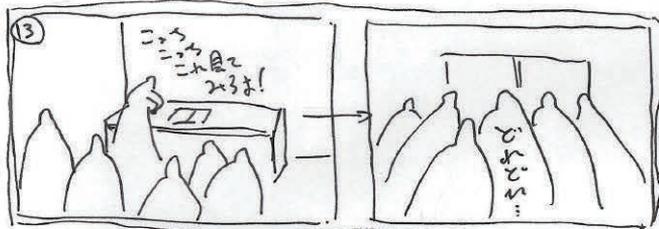
その: Aの視点..



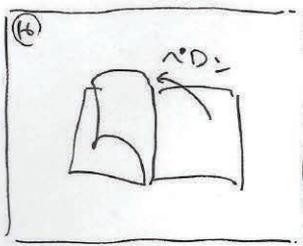
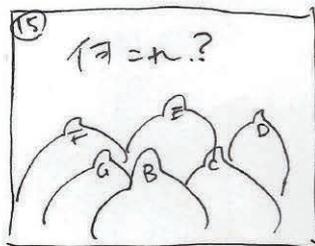
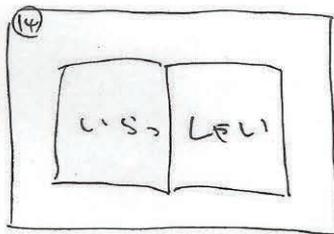
服のAのA



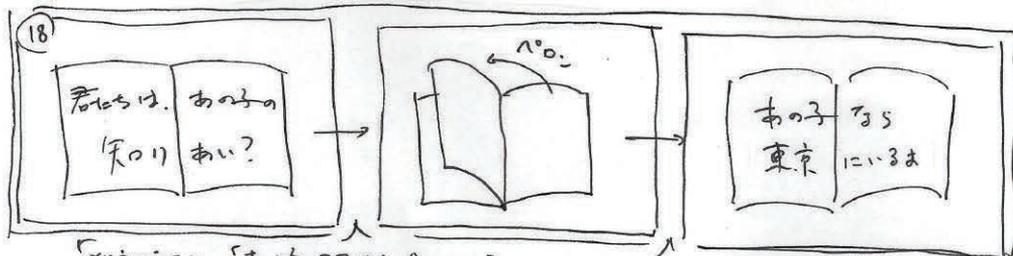
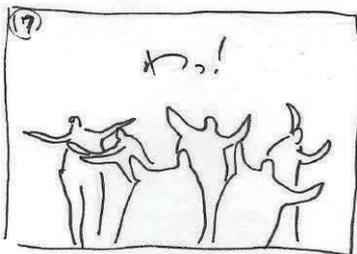
声かすのBのB



全員が書き出した所を後ろから



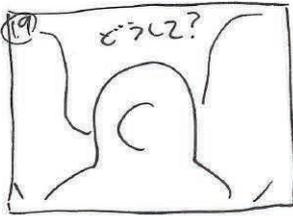
いさし



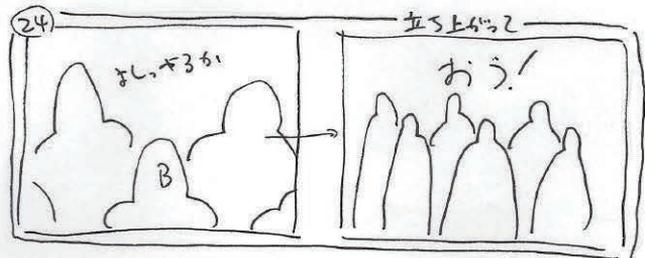
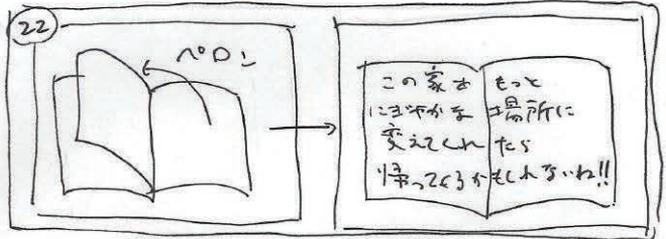
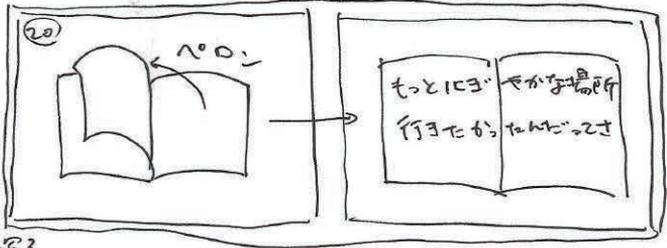
「どういふこと」「あの子は笑のAのこと?」

「わあ!」

9



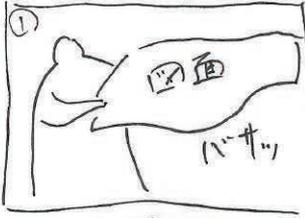
-人たはたのP.O.に他の人は本のみ見る



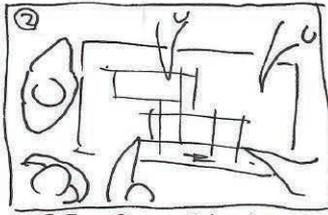
音楽開始

10 / SCENE 4: 改修スタート → 帰、2<3>

1階に移動

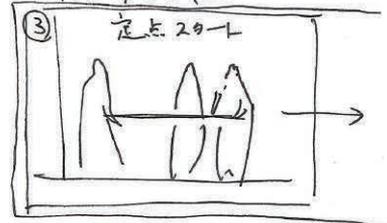


図面を広げる.



図面を机に話し合

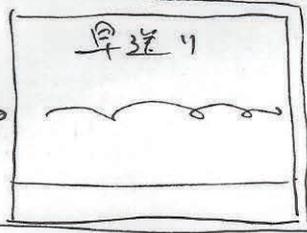
1階の机を戻す



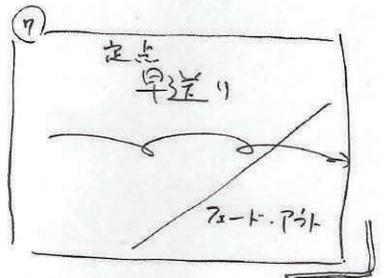
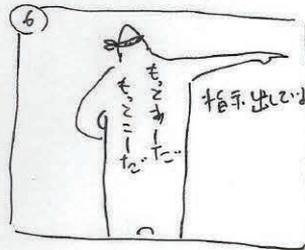
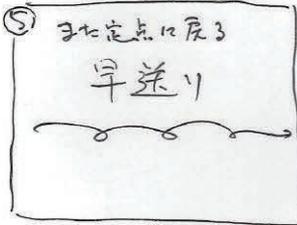
作業スタート



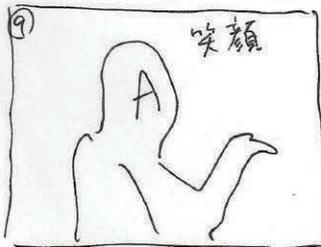
文字をかぶせる



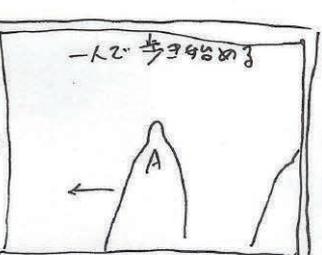
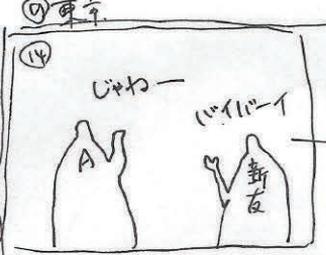
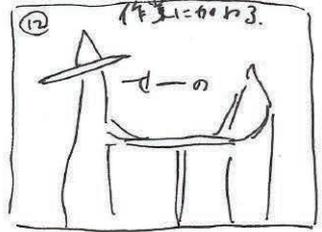
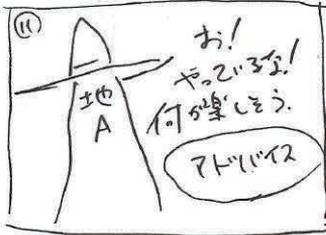
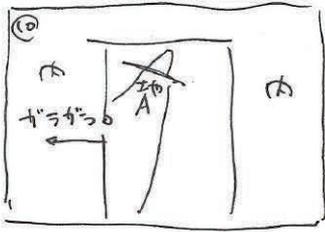
所に個人の仕事をとりかえる.



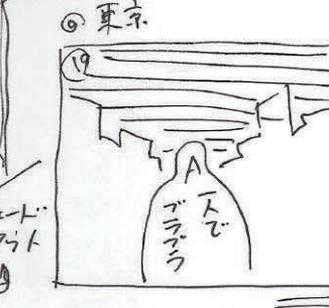
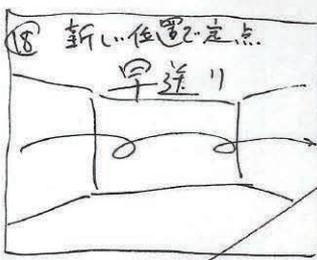
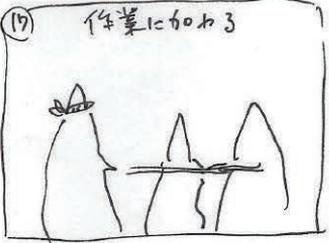
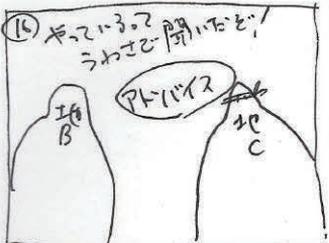
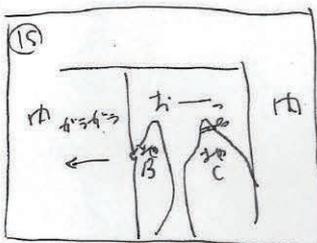
⑩ 東京.

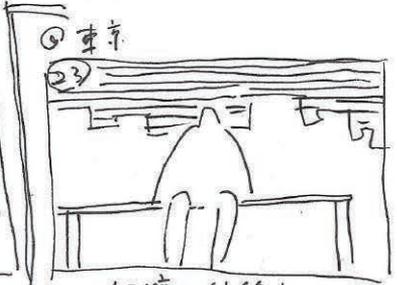
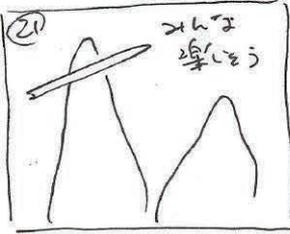


11 / ⑨ 田根

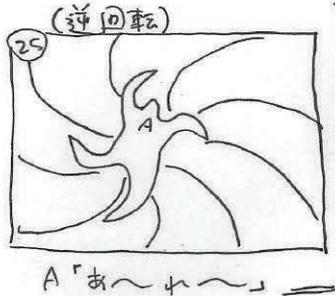
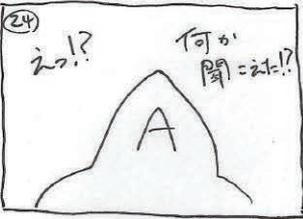


⑩ 田根

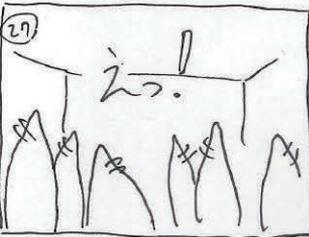
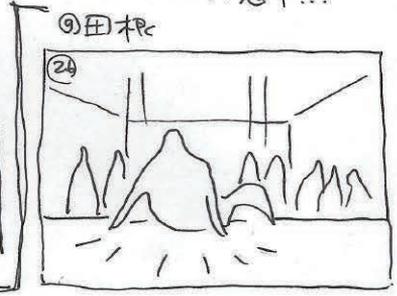




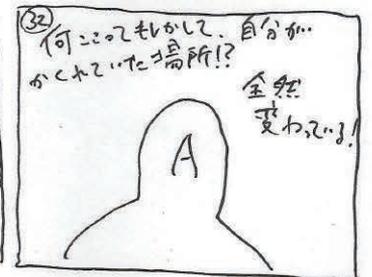
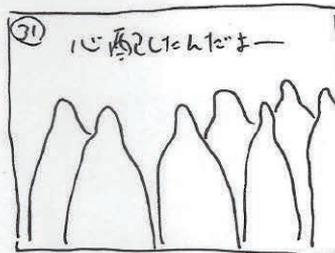
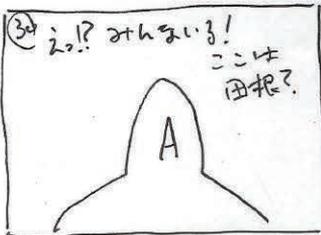
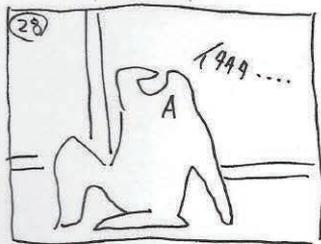
一人で座って休憩中...



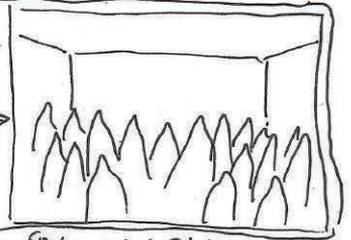
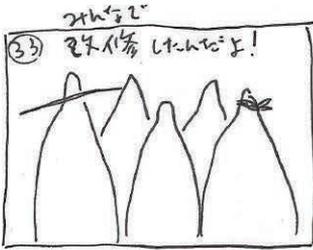
A「あ〜わ〜」



みんなが川とふり返るから: Aの視点.

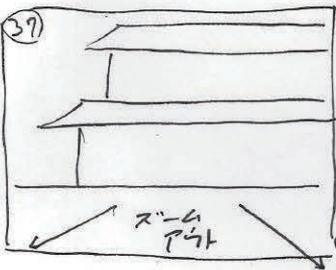
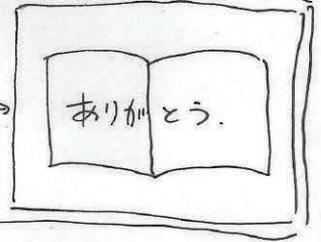
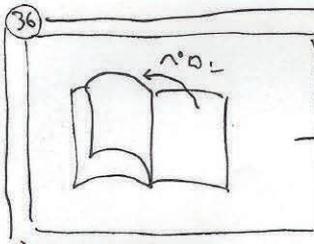
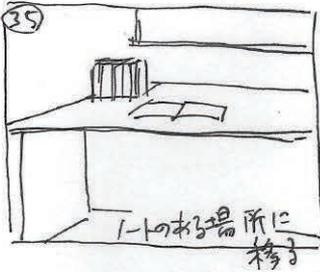


13



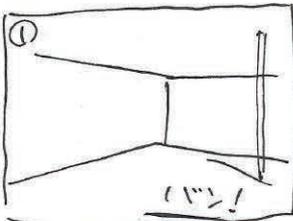
Aとハハハの団む

アハハとステージアウト

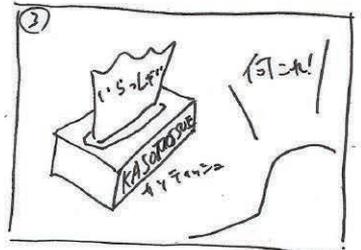


14

SCENES : ENDING



どこか別の空王家の中...



Fin.



田根ザシネマ

虎姫高校の学生十七名と一緒に
二日間の映画製作ワークショップ
を行いました。

映画製作を通じて、地域の若者
が自分たちの身近にある田根の綺
麗な自然や風景に触れると同時に、
過疎や空き家問題について考える
ことが目的です。

空き家を扱った内容のシナリオ
をベースに高校生と一緒に空き家
の活用案を考え、実際の古民家に
て再現し、撮影に挑みました。





撮影前に行われた大学院生による講義

田根ザシネマ



撮影された動画を確認



撮影場所へは自転車で移動



映画撮影風景

041



映画撮影風景

田根ザシネマ



田根ザシネマ



映画撮影風景



映画撮影風景



映画撮影風景

田根ザシネマ



田根の風景

田根ザシネマ



田根の風景



田根ザシネマ



田根ザシネマ



田根の風景

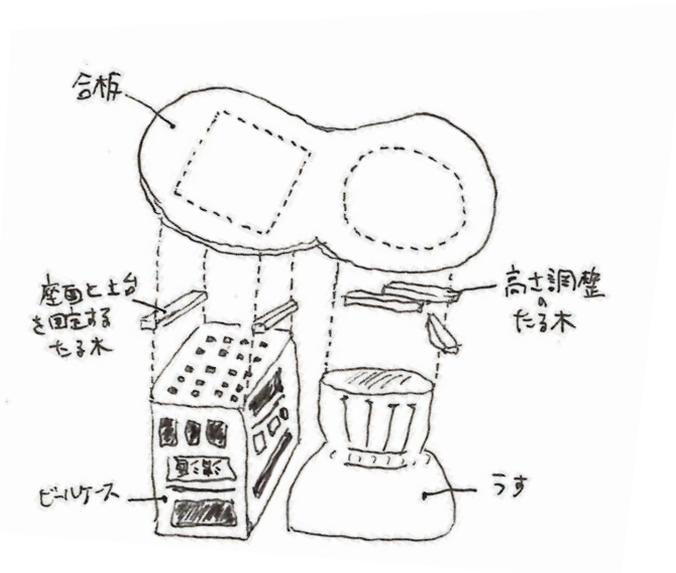
田根ザシネマ

椅子作り WS

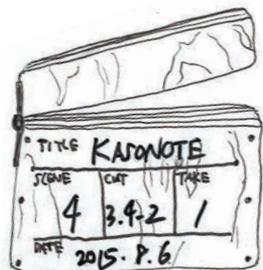


椅子作り手順

- ①土台の組み合わせを決める
- ②木材を挟んで 高さを揃える
- ③土台にあった形に座面を切り出す
- ④座面を乗つけて土台と固定し、できあがり



撮影小道具



カチンコ



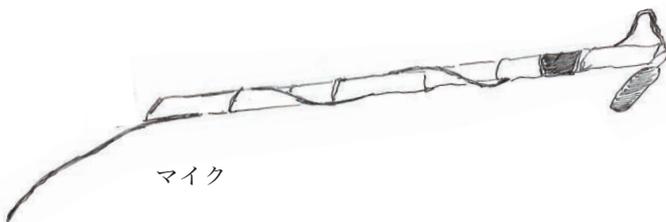
かそノート



木獅子賞



かそティッシュ



マイク

平成 27 年度 サマーセミナー(慶應義塾大学小林研究会) アンケート集計結果

1. 実施概要

実施日: 8月5日(水)・6日(水) 対象: 2年生生理系(受講希望者)

実施場所: 長浜市田根地区(公民館・周辺古民家)

参加人数: 13名(男子6名/女子7名)

内容: [講義] 建築都市論に関する議論

[実習] 小林研究会・地域づくり協議会共同ワークショップへの参加～地域の課題をテーマにした映像作品制作～

2. アンケート集計結果

- ①今回の講座の内容を、自分なりに理解できましたか。
 ②今回の講座の内容に、興味・関心を持ちましたか。
 ③今回の講座に参加して、将来科学に関連する職業に就きたいと、より思うようになりましたか。
 ④今回の講座に参加して、理科や数学を学習することは重要だと、より思うようになりましたか。
 ⑤今回の講座を通して、自分なりに物事を考えてみることができましたか。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	評価 平均
①	9	4	0	0	3.69
②	13	0	0	0	4.00
③	8	5	0	0	3.62
④	6	7	0	0	3.46
⑤	8	5	0	0	3.62

□そう思う □どちらかといえばそう思う
 ■どちらかといえばそう思わない ■そう思わない

69.2%	30.8%
100.0%	
61.5%	38.5%
46.2%	53.8%
61.5%	38.5%

- 今回の講座に参加した感想を書いてください。

(興味・関心を持って回答した順に、◎→○→△→◇を先頭に記載)

- ◎ 初めて映画撮影をしてとても楽しかった。過疎地域の事をよく考えさせられた。
 ◎ 建築と聞いて、一番に思い浮かぶのは、今住んでいる町に家を建てる事だった。大学で設計を学び、卒業後建てるのだと思っていたが、2日間大学生の方と小林先生の話を聞き、自分の考えていた建築の世界はとても小さいものであったことが分かった。日本橋の話を知り、建築は家だけでなく大きなビルや橋もあること、コンゴやエチオピアの話を知り、建てる場所は必ずしも日本と決まっているわけではないということ。今から考えると当たり前のことなのだが話を聞くまでは気付けなかった。外国で小学校を建てるということはとても面白そうだった。中学の頃、子どもと関わる教師か、外国の文化や人と触れ合う仕事、そしてものを作る建築士のどれかになりたいと考えていた。SFCが行っている活動はしたかったことが全て一度に行われているのですごく魅力的だった。午後からの映画撮影では使われていない家でも使える物はたくさんあるのだと知った。また田根は本当に良い所で、その良さも活かし改修されるべき所が他にもないか、また行いたい。
 ◎ 初め、あまり建築には興味がなく参加したが、講義を受けたり映画を撮ったりしていくうちに建築に興味が出てきた。1日目の講義では学生の発表があり、みなさん海外に行ってアーチを作ったり、日本橋周辺の建物を、木造にしたりにすることを考えていると知って、すごいと思った。単純に建築と言っても、数学や物理の知識が必要だということがよく分かった。また、映画作成では、もちろん映画など作ったことがなかったし、カメラ1台50万円と聞いて、とても緊張した。でも使い方も丁寧に教えて下さって、慣れてきたらすごく楽しかった。過疎問題にも改めて考えさせられた。私は旧長浜地域に住んでいて、確かに高齢者は多いけれど、そこまで過疎について考えたことがなかった。実際田根に行って、人通りも少なく若い人があまりなくて驚いた。田根はすごく良い所だと思う。自転車で行くのはキツイが、これを機にまた田根に遊びに行きたい。本当にこの講座を選択して良かった。とても楽しかった。
 ◎ デザインに興味があったのでこの講座に参加した。建築の事については全く興味はなかったが、教授の話を聞いて

サマーセミナー【鹿島建設大学】アンケート

て、デザインにはいろんな分野のデザインがあること、建築のこと、勉強やり方のことなど、色々と考えさせられる事や、ためになったことがたくさんあった。今回映画の撮影もさせてもらって、撮影にはこんなに手間がかかり、たくさんの人に支えられてできていくものだと感じた。まだ将来の進路は決まっていないが、今回のことで将来を考えるといい体験になってとてもよかった。

- ◎ 普段の授業とは少し違った事を学ぶことができ、とても良い経験を積むことができた。また映画はみんなで撮るという初の試みにとても緊張したが、とても楽しかった。今回の経験を活かして、自分の進路を見据えていきたいと思う。
- ◎ 第2希望だったので、正直初めはあまり乗り気ではなかったが、作業をしたり、先生の物づくりについての話を聞いたりしているうちに本当に建築や、ものづくりについて興味や関心が湧いてきた。暑くて大変だったがとても楽しかった。
- ◎ 最初は建築に興味があったので、参加を決めた。映画を撮影すると聞いた時は驚いたが、とても楽しかった。普段はできない映画制作に参加できて、すごくいい経験ができた。他の講座では絶対経験できないことばかりで、この講座に参加できてよかった。今回の事で建築デザインの進路に進みたいとより強く思った。
- ◎ この講座に参加できて、本当に良かったと思った。大学生のたくさんの人生経験を聞くことができ、貴重な体験ができ、とても楽しい2日間だった。椅子も全て自分達で作りととても自信になった。この二日間の経験を活かして頑張っていきたい。
- ◎ 長浜に住んで長いですが、田根という場所には初めて行ったし、初めて知った。遠いが自然に囲まれて良いところだと思った。しかし、長浜などとは違い、お店も少なく、交通の便が悪いと思うので、過疎にもなりがちであるのも分かった。
- ◎ いつも話す事は出来ない大学生、教授と話すことができ、本当に良いサマーセミナーになった。映画作りの初めのことばかりで戸惑う事もたくさんあったが、その制作を通じて、環境と住居の関係の深さ、そして人々とのつながりを理解することができた。この2日間で大学生や地域の人をたくさんの方々とは触れ合い、とても楽しかったし、素晴らしい経験になった。こんな体験はなかなかできる事じゃないし、最高の夏の思い出となった。サマーセミナーに参加して本当に良かった。



田根ザキャラバン

八月八日から十五日までの約一週間、高校生と製作した映画を田根の集落、計十四集落を回って上映会を行いました。各集落の普段は使用されていないような場所で上映会を行うことで、その空間や場が従来持っていた魅力を再発見し、自分たちの地域を見つめ直すきっかけになると、以降その地域の人々にとって新しい使われ方が生まれることを期待して行いました。上映会後には、簡単なアンケートに答えていただき、映画の感想、地域の方々の集落の場所や過疎に対する意識調査を行いました。

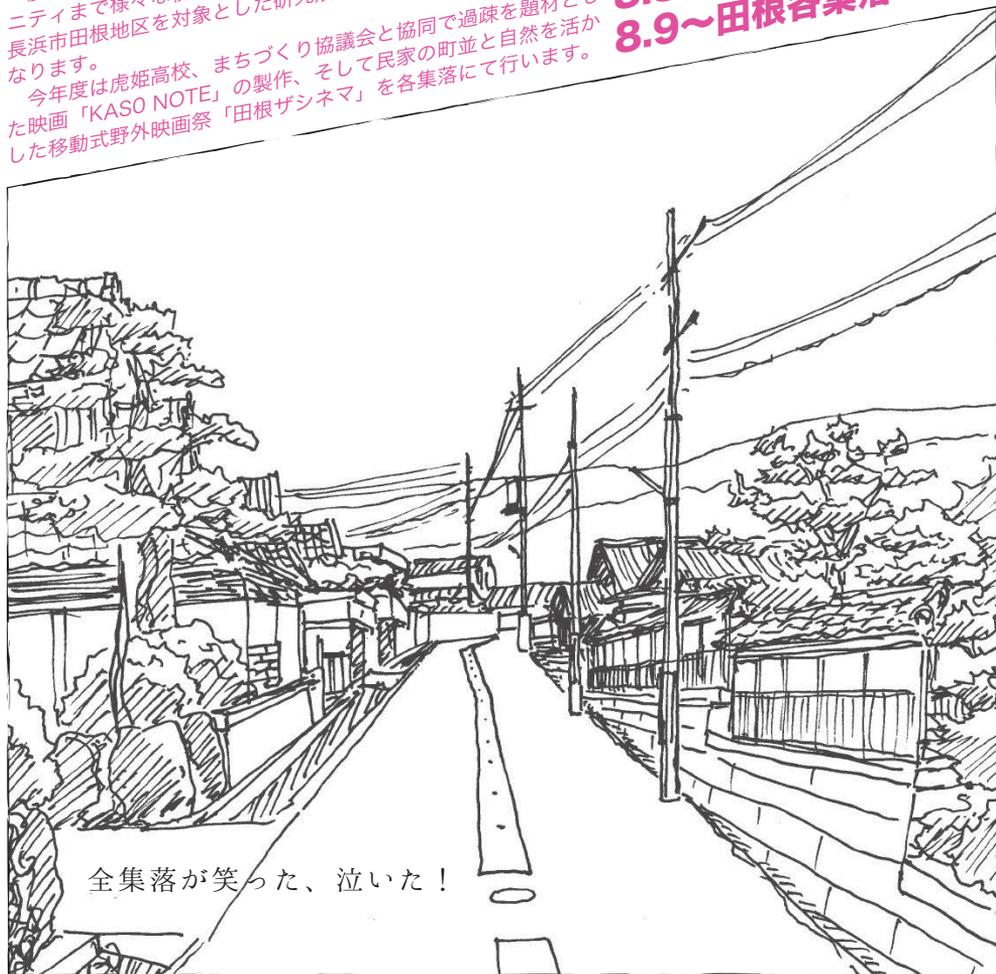


2015 虎姫高校、田根地域づくり協議会、慶應義塾大学協同企画 田根ザシネマ キャラバン

慶應義塾大学小林博人研究会では、建築から地域コミュニティまで様々な視点に基づき都市の研究を行っており、長浜市田根地区を対象とした研究活動は今年で9年目になります。

今年度は虎姫高校、まちづくり協議会と協同で過疎を題材とした映画「KASO NOTE」の製作、そして民家の町並と自然を活かした移動式野外映画祭「田根ザシネマ」を各集落にて行います。

8.8@田根坐ガーデン
8.9~田根各集落を巡業



全集落が笑った、泣いた！

田根 ザキャラバンまとめ



順	町名	上映日	時間	来場者
1.	谷口町	2015/8/8	21:00-22:00	約 100 人 (田根坐ガーデン)
2.	木尾町	2015/8/9	19:00-20:00	10 人 (内子供 1 人)
3.	上野町	2015/8/9	20:15-21:15	25 人 (内子供 5 人)
4.	池奥町	2015/8/10	19:00-20:00	13 人
5.	高畑町	2015/8/10	20:15-21:15	15 人
6.	瓜生町	2015/8/11	19:00-20:00	20 人 (内子供 2 人)
7.	田川町	2015/8/11	20:15-21:15	7 人
8.	小室町	2015/8/12	19:00-20:00	15 人
9.	野田町	2015/8/12	20:15-21:15	14 人
10.	竜安寺町	2015/8/13	19:00-20:00	5 人
11.	黒部町	2015/8/13	20:15-21:15	17 人 (内子供 3 人)
12.	力丸町	2015/8/14	19:30-20:30	17 人 (内子供 1 人)
13.	北野町	2015/8/15	18:00-19:00	15 人 (内子供 6 人)
14.	須賀谷町	2015/8/15	19:30-20:30	16 人 (内子供 4 人)

記号表詳細

- 地域の人々でよく集まる場所
- ♥ この町で一番すきな場所
- 上映場所
- 256 県道

1. 谷口町



日付：2015/8/8

時間：21:00-22:00

来場者：約 100 人 (田根坐ガーデン)

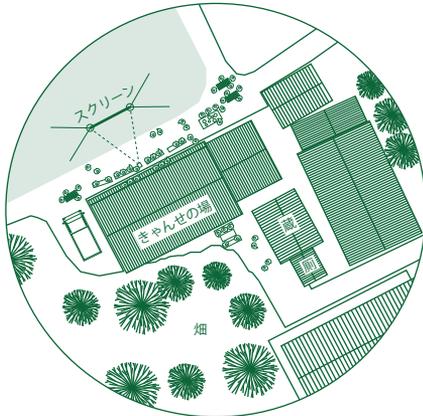
アンケート回答者：0 人

第一産業の規模が大きい集落である。

集落内において集約が早い時期に進んでおり、集落を挙げて一つの共同経営の体制を整えている産業を組山制度のもとで運営している。林業と地域の関係が非常に希薄。

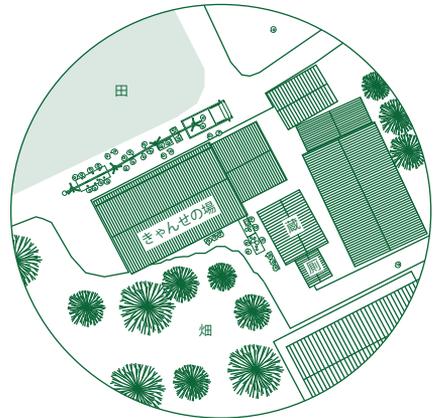
谷口杉という谷口独自の杉種を生産しており、また独自の育成方法の工夫をしながらその名声を作り上げたが現在は他の林業同様に価格の著しい下落に苦しみ、その経営は岐路に立たされている。

上映時の空間構成



きゃんせの場向かいの田んぼにスクリーンを立て、道を挟んだ位置から投影。2階の底部分が2階席として機能し、立体的な上映空間となる。

新しく考えられる使い方



- ・1Fを地域の公共キッチン+食堂
- ・流しそうめん
- ・2Fはオフィス

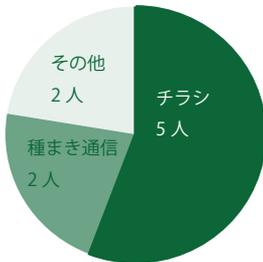
慶應義塾大学の田根での活動を知っていたか



映画の感想

- ・素直な気持ちでがんばっていた。(63歳・在住62年)
- ・過疎の村に新しい風が吹いた。(39歳・在住10年)
- ・若い人が空き家を使っているのがよかった。(39歳・在住7年)
- ・地域全体を映してよかった。(30歳・在住30年)

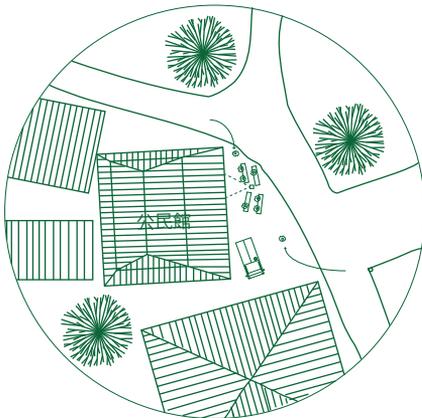
この上映会を知ったきっかけは何か



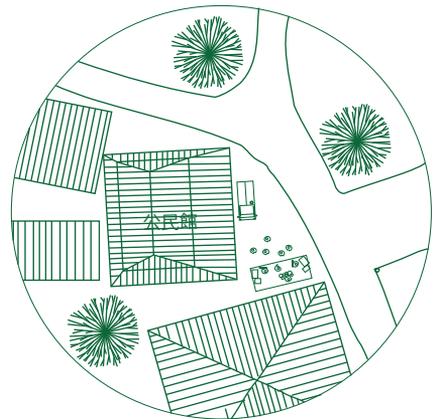
空き家をどのように使いたいか

- ・古民家カフェ (30歳・在住30年)
- ・お菓子教室 (39歳・在住7年)

上映時の空間構成



新しく考えられる使い方



・公民館の入り口にスクリーンを張って映像を投影。
道路に広く面した場所であるため、人の導線が広い
範囲で確保できる。

・ライブ

2. 木尾町



日付：2015/8/9

時間：19:00-20:00

来場者：10人

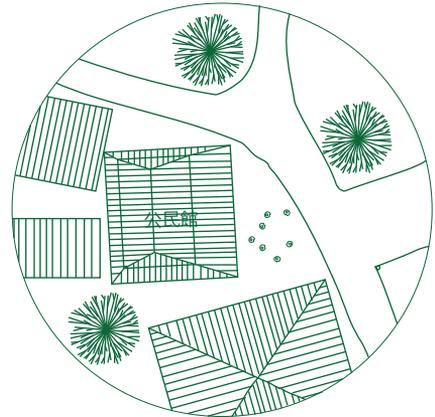
アンケート回答者：9人

かつては新築の棟上げなどを共同で行っていたが、工業化住宅が増えるにつれて共同作業がなくなっていった。また、かつて5箇所にあったお宮さんは現在では2箇所になっている。

特筆すべき点としては、市街地に近い事から人口は田根の中では一番多い事があげられる。

ランドマークは、町内にある二つの池。(北池と南池)

上映場所の普段の使い方



地域の人々でよく集まる場所

公民館(3人) 用途：会議・集合場所・総会



上映場所

公民館の入り口で上映

・集会所

・子供会

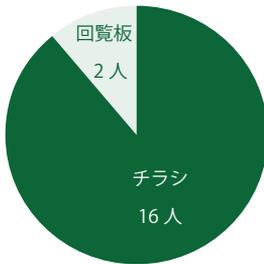
慶應義塾大学の田根での活動を知っていたか



映画の感想

- ・田根の景色がよかった。(52歳・在住29年)
- ・空き家対策が練りこまれてよかった。(81歳・在住81年)
- ・知っている場所が映画に出てきて、身近な問題だと気づいた。(46歳・在住23年)
- ・田根のいいところを知ることができた。(32歳・在住5年)
- ・幅広い年齢の方に向けた工夫が必要。(53歳・在住53年)

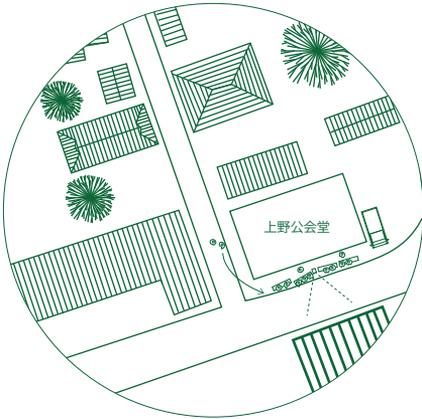
この上映会を知ったきっかけは何か



空き家をどのように使いたいか

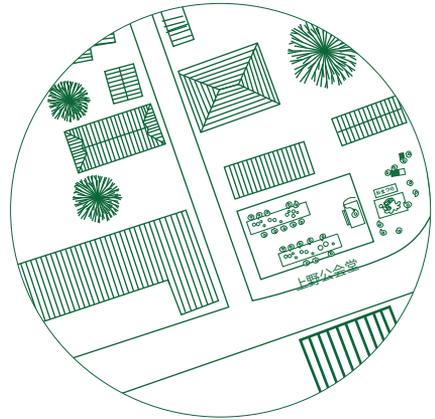
- ・食堂に使いたい(55歳・在住55年)
- ・レストランや宿泊施設(30歳・在住10年)
- ・音楽・ミニコンサート(52歳・在住52年)

上映時の空間構成



- ・上野公会堂向かいの空き家にて投影。公会堂前にベンチ等を設置し、道路を挟んで上映した。

新しく考えられる使い方



- ・コンサート
- ・食堂
- ・お祭り

3. 上野町



日付：2015/8/09

時間：20:15-21:15

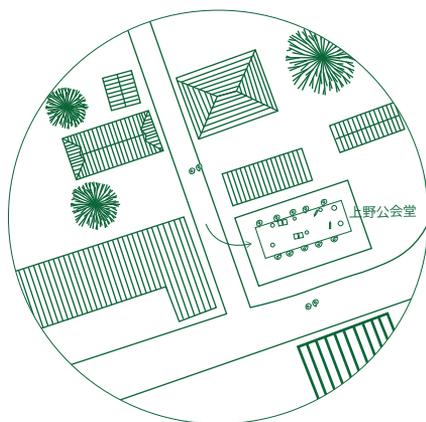
来場者：25人

アンケート回答者：18人

人口総数およそ770人、世代総数223世帯。
他の集落に比べ、空き家率が低い。

未工作面積が田根地区で最大であり、急な坂がなく、
平坦な土地が特徴。

上映場所の普段の使われ方



野田会館(7人)

用途：会議・寄合い・集合場所・総会・世間話



ため池広場(4人) ため池の土手(1人)

田根小学校(2人)



野田会館裏の倉庫に上映



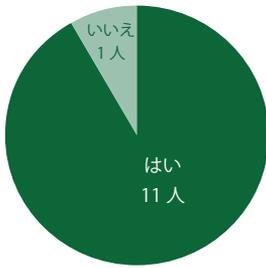
県道 276 号線

・集合場所

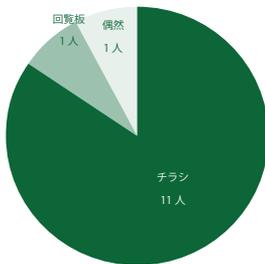
・総会

・子供会

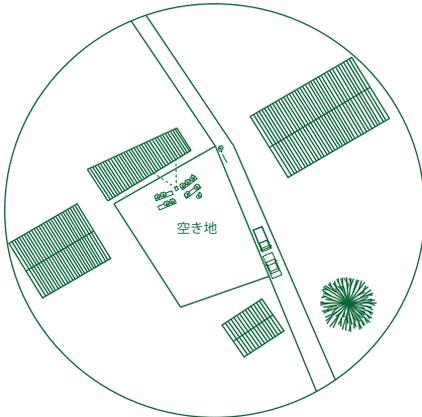
慶應義塾大学の田根での活動を知っていたか



この上映会を知ったきっかけは何か



上映時の空間構成



・半透明の波板に映像をプロジェクションし、空き地を上映会場として利用。近辺は住宅に囲まれ、地域住人が集まりやすい広々とした空間になっている。

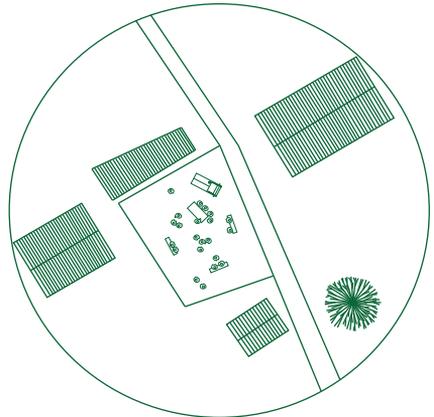
映画の感想

- ・若者が一生懸命活動しているところがよかったです。(匿名)
- ・地域のいろんな風景をバックにしていた。(67歳・在住39年)
- ・地域の自然がよかったです。(68歳・無職)
- ・若々しかったことがよかったです。(50歳・在住48年)
- ・空き家利用を考え、集いの場所を考えているのがよかったです。(匿名)

空き家をどのように使いたいか

- ・コンサート等(68歳・在住65年)
- ・他地域の方が来て欲しい(60歳)
- ・ものづくり広場(72歳在住50年)
- ・地域集合(50歳・在住50年)
- ・地域のものを使ってレストラン(61歳・在住34年)

新しく考えられる使い方



- ・イベント会場
- ・公園

4. 池奥町



日付：2015/8/10

時間：19:00-20:00

来場者：13人

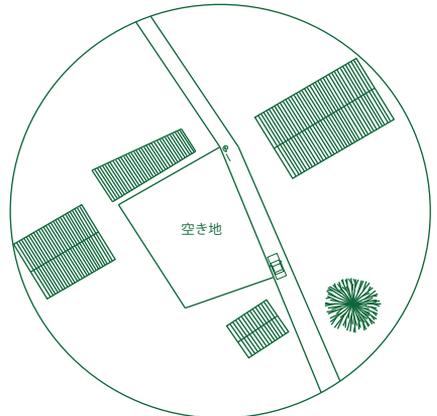
アンケート回答者：12人

古代大和朝越の時代に物部守屋が干ばつに苦しむ農民のため、現西池となるため池を作らせたと言われている。

特徴として、平地が少なく、他集落に田園を持つ住民もいる。

ランドマークであるBBQ場では、地域住民が集うイベントなどが頻繁に行われる。

上映場所の普段の使い方



公民館 (11人)

用途：会議・会合・研修・話し合い

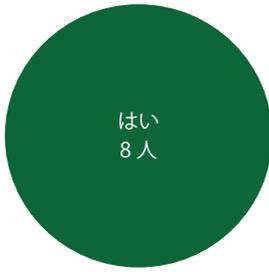


西池 (6人)・広場 (1人)・桜番場 (1人)
神社 (1人)・自然そのもの (1人)



空き地の波板壁

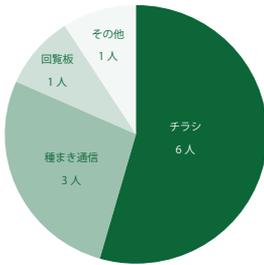
使用しない



- ・空き家良さ。古き良さ。(68歳・在住65年)
- ・色々な事がよくわかった。(80歳・在住45年)
- ・各地域の宅が見えて良かった。(60歳)
- ・高校生を使ったところ。(匿名)
- ・苦労されて、理想の形です(72歳・在住50年)
- ・地域が映画で見れたこと。(50歳・在住50年)
- ・地域の再発見。(61歳・在住34年)

この上映会を知ったきっかけは何か

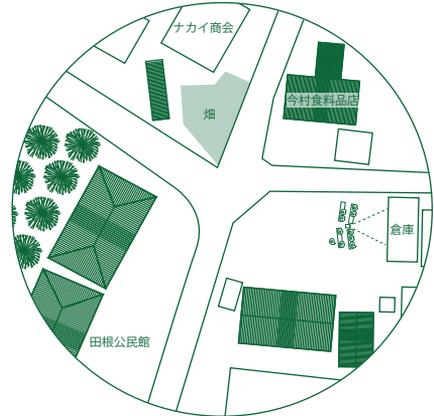
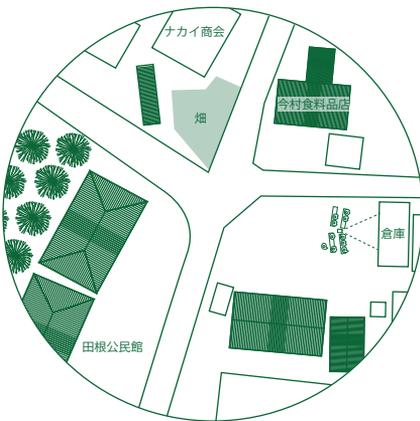
空き家をどのように使いたいか



- ・古民家カフェ (30歳・在住30年)
- ・お菓子教室 (39歳・在住7年)

上映時の空間構成

新しく考えられる使い方



・田根公民館そばの倉庫の壁面に映像を投射。
 県道 277 号線と大通りの二つの道の交差点角
 に位置しているため、人が入りやすい空間に
 なっている。

・今日のような上映会

5. 高畑町



日付：2015/8/10

時間：20:15-21:15

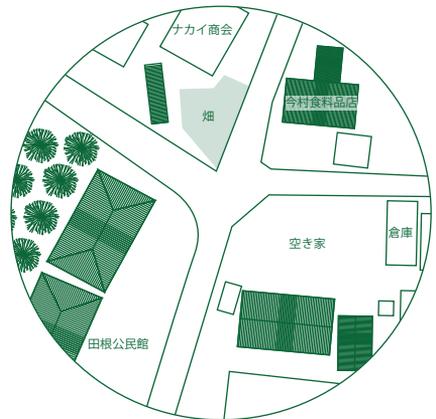
来場者：15人

アンケート回答者：10人

高畑の北部に位置する椿原の遺跡にて、県内において初めて縄文晩期の呪術具である石冠が発見されたことから、一躍注目を集めた。

田根の緩やかな扇状大地のほぼ中央、扇頂部に近い一帯を高畑は占めており、立地や景観からも古くから開けた所である。

上映場所の普段の使い方



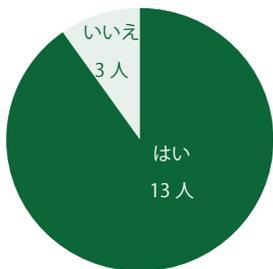
-  田根公民館 (8人)
用途：会議・集会・サロン・老人会・飲み会
草の根 (1人)

-  桜番場 (3人)・神社 (2人)・畑 (1人)

-  田根公民館そばの倉庫に上映

-  256 県道 256 号線

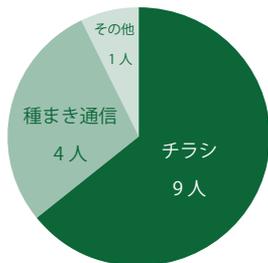
- ・空き地
- ・お店
- ・雑貨屋



- ・こんな所があると知ってもらいよかった。(48歳・在住42年)
- ・楽しそうにしているよかった。(47歳・在住20年)
- ・空き家についてよく考えていた。(在住61年)
- ・地元の人以上に田根のことを考えていた。(42歳・在住42年)
- ・元気がもられた。(72歳・在住50年)
- ・もう少し長いほうがよかった。(48歳・在住48年)

この上映会を知ったきっかけは何か

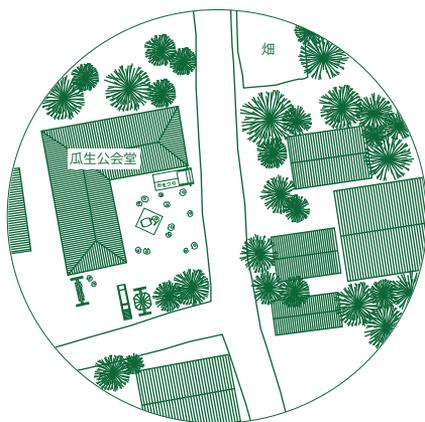
空き家をどのように使いたいか



- ・古民家カフェ (30歳・在住30年)
- ・お菓子教室 (39歳・在住7年)

上映時の空間構成

新しく考えられる使い方



・集落の中央に位置する、公会堂敷地内の遊具にスクリーンをかけ投影した。小さな子供も多く来場し、滑り台に座るなどして鑑賞していた。

・お祭り

6. 瓜生町



日付：2015/8/11

時間：19:00-20:00

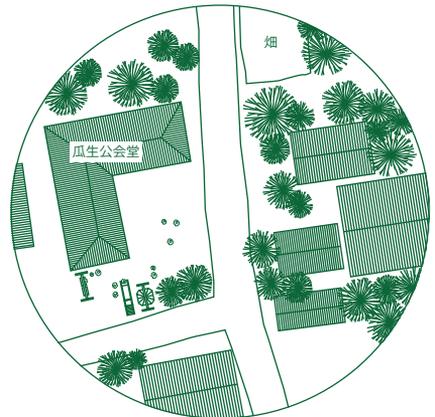
来場者：20人

アンケート回答者：16人

田根の西側に位置する瓜生は長浜市街にほど近く、子供も含め人口も多い地区である。

尾根を隔てた隣の須賀谷とは、細い山道で繋がっており、日吉神社がその入口にあたる。

上映場所の普段の使い方



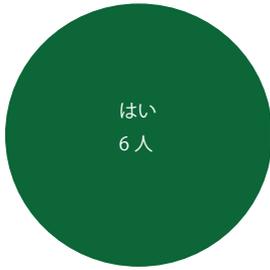
● 公会堂 (16人)
用途：会議・懇親会・サロン・子供の遊び場

♥ お宮さん (4人)・瓜生山 (2人)

■ 公会堂敷地内の公園で上映

256 県道 256 号線

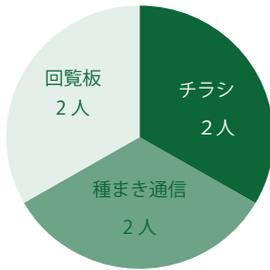
・子供の遊び場



・田根とのつながりがあまり分からない (62歳・在住62年)

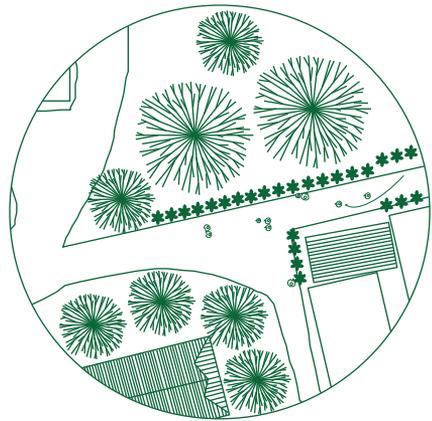
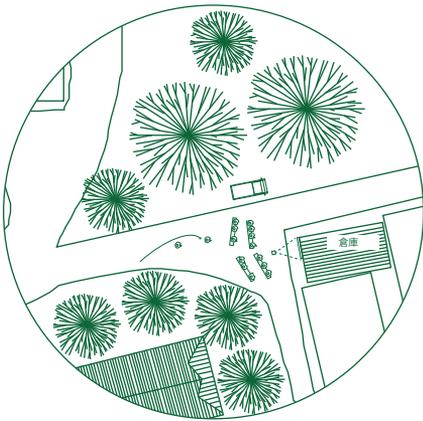
この上映会を知ったきっかけは何か

空き家をどのように使いたいか



上映時の空間構成

新しく考えられる使い方



・倉庫の壁面に映像を投射。二つの通りの交差点を客席にしたので、だれにでも開かれた場所となっており、開放的。

・道の両脇に花壇を作り、花道を設置する

7. 田川町



日付：2015/8/11

時間：20:15-21:15

来場者：7人

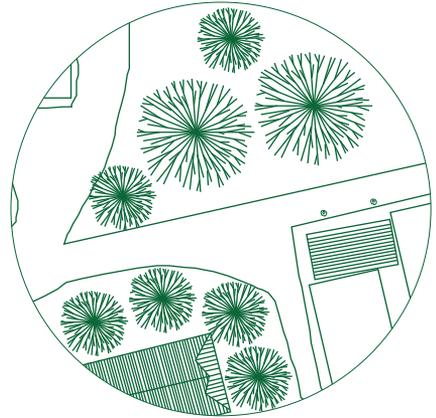
アンケート回答者：6人

北部には山脈が広がっているが、周辺には広大な田園地帯が広がっている。

古くから用水、水路の工夫がされたもようで、一つは予想を超える大型の溜池が築かれている。

また一方では田根荘の南部低地を占めることからしばしば水害にもみまわれたようで先人の苦勞が語り伝えられている。

上映場所の普段の使われ方



● 運動場 (4人)・公会堂 (4人) 神社境内 (2人)

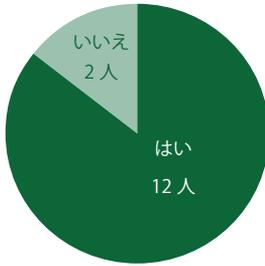
用途：親睦・会議・遊び場・運動会

♥ すべて (1人)・公会堂 (1人)

■ 野田会館裏の倉庫に上映

256 県道 256 号線

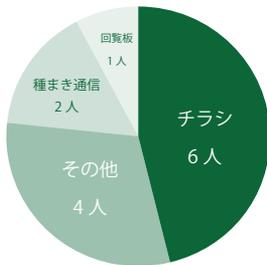
慶應義塾大学の田根での活動を知っていたか



映画の感想

- ・若さあふれるところがよかった。(61歳・在住61年)
- ・地域の様子がよく伝わる。(36歳・在住26年)
- ・イメージが伝わってきた。(66歳)
- ・空き家のことを考えさせられた。(65歳・在住35年)
- ・ういういしい(52歳・在住48年)

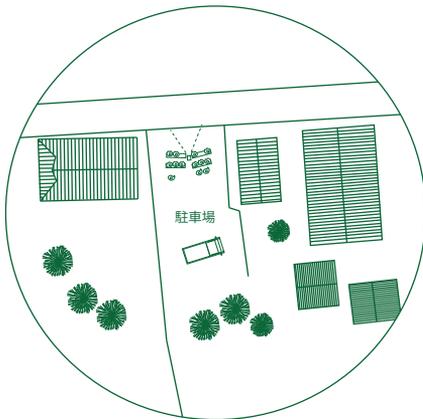
この上映会を知ったきっかけは何か



空き家をどのように使いたいか

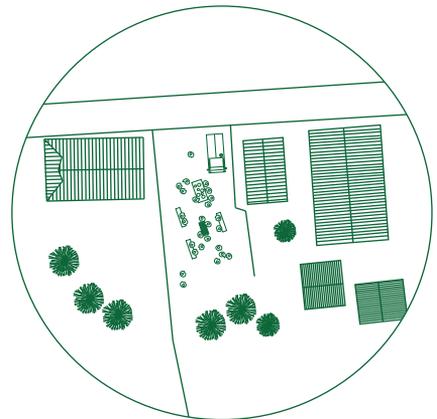
- ・昼寝をするところ、レストラン(46歳・在住46年)
- ・トランプ、かくれんぼをしたい(18歳・在住18年)
- ・月例会のようなことに使いたい(66歳・在住56年)

上映時の空間構成



- ・県道265号線沿いに位置する田根庵の駐車場の門にスクリーンを張り、映画を上映。門が作り出す独特な和の雰囲気と駐車場の広い空間をうまく利用した空間構成。

新しく考えられる使い方



- ・バーベキュー
- ・映画館
- ・野外コンサート

8. 小室町



日付：2015/8/12

時間：19:00-20:00

来場者：15人

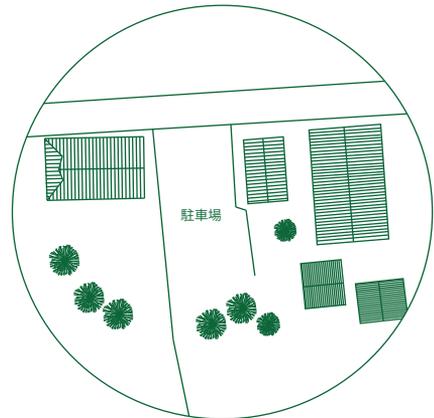
アンケート回答者：15人

戦国時代から江戸初期にかけて、一級の文化人として知られた小堀遠州政一の得た領地の一つに、あとを注いだ息子の政之が現在の小室町に陣屋を建設。現在もその痕跡が多く残されている。

特徴として、観光地である孤蓬庵や小室城跡があり、外部から多くの人々が訪れる。

その他に田根庵という古民家を改修したレストランがあり、ランドマークの一つとなっている。

上映場所の普段の使われ方



公会堂 (8人)

用途：会議・話し合い



田根庵 (1人)・小川のあるところ (1人)

西池 (1人)・自分の家 (2人)



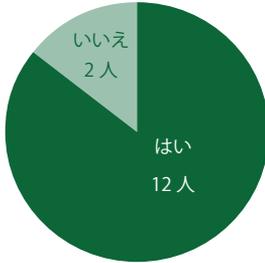
田根庵駐車場



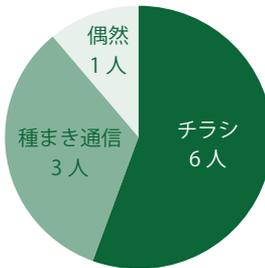
県道 265 号線

・駐車場

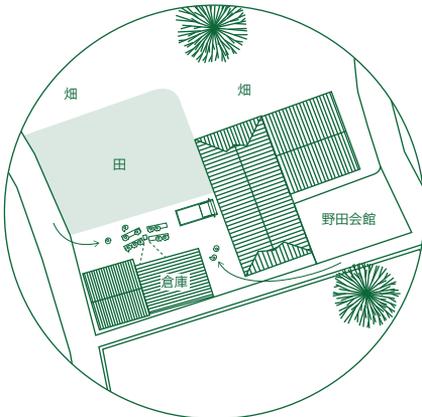
慶應義塾大学の田根での活動を知っていたか



この上映会を知ったきっかけは何か



上映時の空間構成



・野田会館裏の倉庫の壁面に映像を投映。県道265号線と接続している大きなアプローチと野田会館脇の路地からの2つのアプローチがある。田んぼに隣接している為、開けた空間となっている。

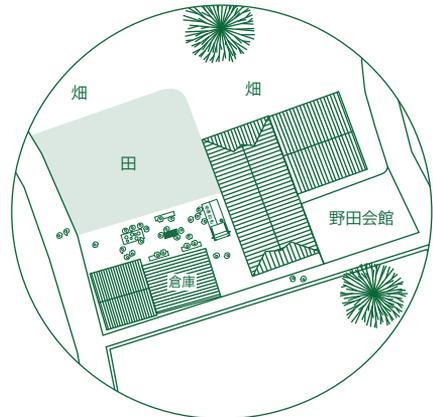
映画の感想

- ・映像で見ると新鮮。(67歳・在住38年)
- ・みんな演技が上手い。(46歳・在住46年)
- ・流が良かった、分かりやすかった。(18歳・在住18年)
- ・短いと言おうとしている事が少しわかった。(72歳・在住72年)
- ・なかなか高校生ががんばっていた。(15歳・在住15年)
- ・田舎を見つけ出そうとする姿がよかった。(66歳・在住56年)

空き家をどのように使いたいか

- ・住んでもらいたい(52歳・在住48年)
- ・サロン(77歳・在住77年)
- ・カフェ(66歳)

新しく考えられる使い方



- ・バーベキュー
- ・児童館
- ・焼き芋

9. 野田町



日付：2015/8/12

時間：19:00-20:00

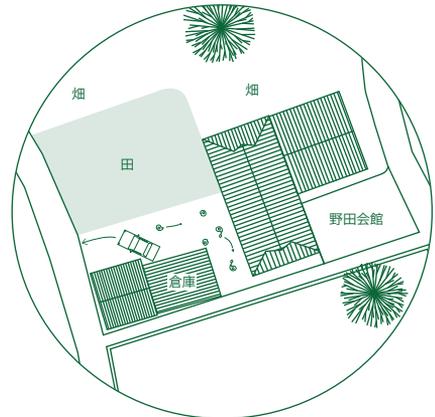
来場者：15人

アンケート回答者：15人

平安中期から末期のころに集落が発生した。田川が南北に集落の東部を流れ、しばしば洪水などの水害に見舞われたとみられる。野田神社には宝篋印塔が現存しており、鎌倉期(1200年頃)の造立と推察される。

特筆すべき地名としては上石橋、大柳、稲荷、嫁屋敷、姫、名村、大將軍、門常時、度々、殿屋敷、是長が野田村の特色を見せている。

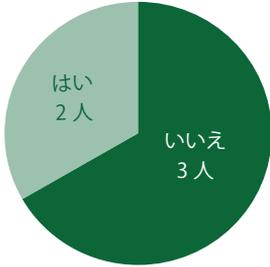
上映場所の普段の使われ方



-  野田会館(7人)
用途：会議・集合場所・世間話
-  ため池広場(4人)・ため池の土手(1人)
田根小学校(2人)
-  野田会館裏の倉庫に上映
-  256 県道256号線

- ・駐車場
- ・キャッチボール
- ・バトミントン

慶應義塾大学の田根での活動を知っていたか



映画の感想

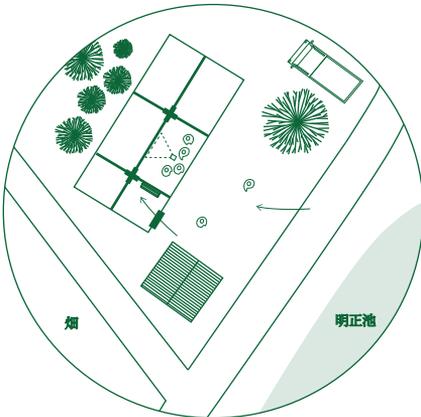
- ・公民館が再生されていく様子が良かった。(67歳・在住67年)
- ・自分の知っている場が映っていてよかった。(41歳・在住41年)
- ・ストーリーのわかりやすさ。(34歳・在住34年)
- ・見慣れた景色が違う角度から見えた。(66歳・在住42年)

この上映会を知ったきっかけは何か

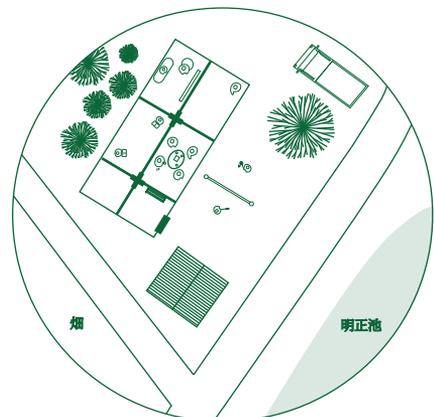


空き家をどのように使いたいか

上映時の空間構成



新しく考えられる使い方



・竜安寺にあるただ一軒の家の中で上映。県道277号線と接続しているアプローチがある。玄関の手前が明正池に面している為、開放的なエントランスとなっている。

- ・バドミントン
- ・バレーボール
- ・BBQ

10. 竜安寺町



日付：2015/8/13

時間：19:00-20:00

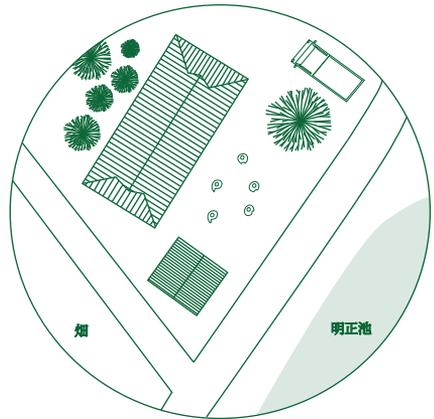
来場者：5人

アンケート回答者：5人

人口総数およそ4人、世代総数1世帯。敷地の大半は森、非常に低い人口密度。

ランドマークとして中心地となる明正池がある。

上映場所の普段の使われ方



🏠 自宅・家の台所（2人）

❤️ 池の景観（1人）

🏠 自宅に上映

・自宅

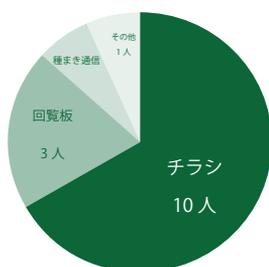
慶應義塾大学の田根での活動を知っていたか



映画の感想

- ・古民家の活用がよかった。(61歳・在住61年)
- ・都会と田舎の映像の融合がよかった。(44歳・在住24年)
- ・高校生が出てられて今風でよかった。(60歳・在住40年)
- ・空き家のイメージが分かりやすい。(10歳・お盆で帰ってきた)
- ・田舎の風景が懐かしかった。(61歳・在住18年)
- ・効果的なBGMが適切に使われていた。(62歳・在住62年)
- ・若者の定住が不可欠だと思います。(78歳・定住45年)

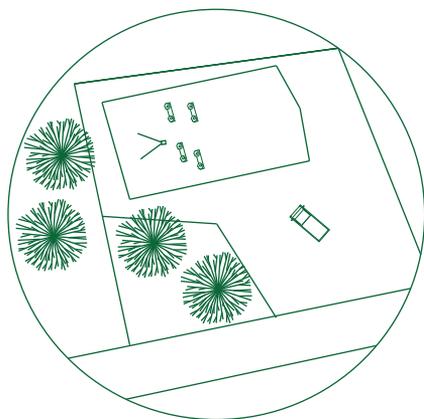
この上映会を知ったきっかけは何か



空き家をどのように使いたいか

- ・食堂、レストラン(61歳・在住18年)
- ・民宿(44歳・在住24年)
- ・お惣菜店(49歳)

上映時の空間構成



新しく考えられる使い方



・雨天のため会場を公会堂に変更した。普段から会議に使われている場所であるため、スクリーンや座布団などを利用した。

11. 黒部町



日付：2015/8/12

時間：19:00-20:00

来場者：15人

アンケート回答者：15人

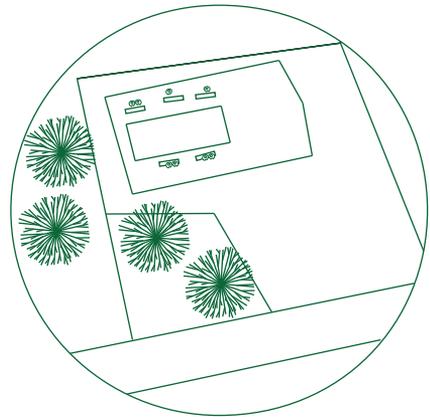
戦国時代から江戸初期にかけて、一級の文化人として知られた小堀遠州政一への得た領地の一つに、あとを注いだ息子の政之が現在の小室町に陣屋を建設。現在もその痕跡が多く残されている。

特徴として、観光地である孤篷庵や小室城跡があり、外部から多くの人を訪れる。

その他に田根庵という古民家を改修したレストランがあり、ランドマークの一つとなっている。



上映場所の普段の使い方



公会堂 (9人)

用途：会議・話し合い・トランプ・世間話

川岸・山林・神社



地域の公会室・広場・自然

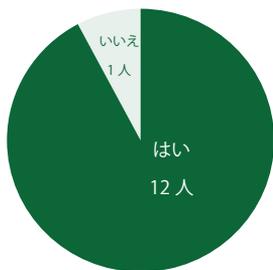


黒部会館

・会議、集会

・町民の憩いの場所

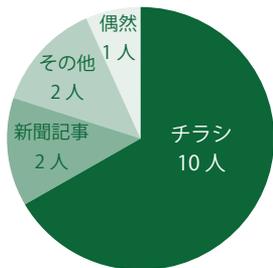
・黒部の自治関係



- ・みんな演技が上手い。(46歳・在住46年)
- ・過疎化の深刻さに気づくことができた。(35歳・在住31年)
- ・年寄りにはわかりにくいと思われる。(48歳・在住18年)
- ・若々しくて感心した。演技も上手くカメラも良く撮れているが少し言葉がわかりにくい。(54歳・在住54年)
- ・一生懸命やっていたが、作りが粗い。(42歳・在住20年)
- ・みんなで一つのことを夢中で素敵だった。(85歳・無職)

この上映会を知ったきっかけは何か

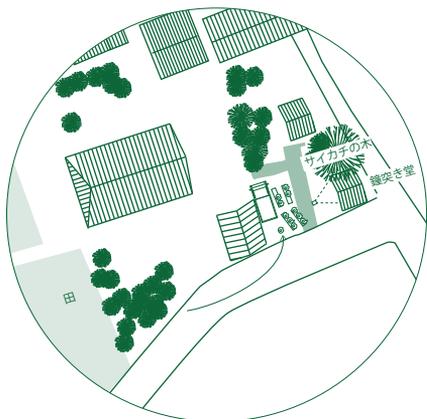
空き家をどのように使いたい



- ・昼寝をするところ、レストラン(46歳・在住46年)
- ・トランプ、かくれんぼをしたい(18歳・在住18年)
- ・月例会のようなことに使いたい(66歳・在住56年)

上映時の空間構成

新しく考えられる使い方



・観地神社の鐘突き堂に幕をたらして上映。県道265号線から伸びる大きなアプローチがある。鐘つき堂の周り神社になっているため、コの字型に間仕切られた、まさに映画館のような空間となっている。

・オコナイ

12. 力丸町



日付：2015/8/14

時間：19:30-20:30

来場者：17人

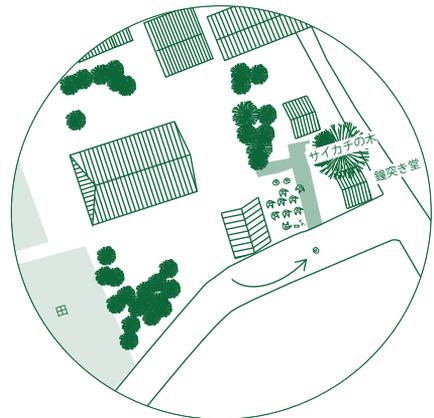
アンケート回答者：13人

田根荘の中心部を占める集落であり、聖徳太子お手植の伝説をもつサイカチの木は田根荘のシンボルである。

本丸、重要なところの意であり、方位、方角を極めて大切にしていたことがわかる。

地域の範囲としては狭いが、現在では人口もかなり減っている。戸数が少ない。

上映場所の普段の使い方



公会堂 (11人)

用途：会議・総会・掃除・老人会



家 (1人)・サイカチの木 (1人)・西池 (1人)

田根小学校 (1人)・神社 (1人)・(会館 (1人))



観地神社のサイカチの木の横の鐘つき堂



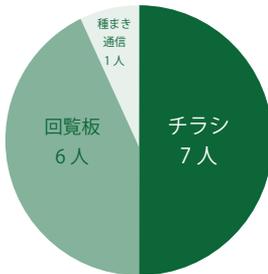
256 県道 256 号線

- ・無人の神社
- ・神事
- ・祭事
- ・花見
- ・ラジオ体操

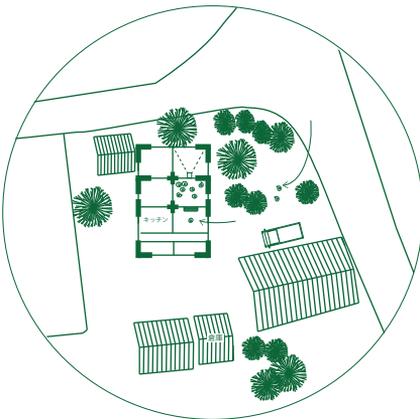
慶應義塾大学の田根での活動を知っていたか



この上映会を知ったきっかけは何か



上映時の空間構成



・野田会館裏の倉庫の壁面に映像を投射。県道265号線と接続している大きなアプローチと野田会館脇の路地からの2つのアプローチがある。田んぼに隣接している為、開けた空間となっている。

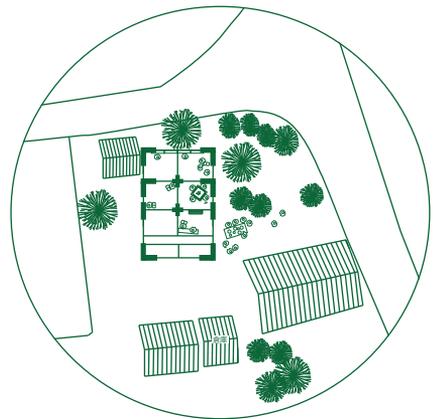
映画の感想

- ・とにかく楽しく製作したムードが伝わった。
ゆるーい音楽と緑がマッチしていた。(26歳)
- ・空き家が活用できれば良いと思った。(45歳・在住17年)
- ・明るい場所にしたい思いが伝わってきた(12歳)
- ・みんなで最後まで探し続けていて良かった。(8歳)
- ・もっと都会と田舎の差をはっきり出すべき。(60歳)
- ・男子と女子の仕事分担が気になった。(59歳・在住35年)

空き家をどのように使いたいか

- ・映画みたいに遊びたい。(14歳・在住14年)
- ・公民館(匿名)
- ・WS会場・コミュニティスペース(26歳)

新しく考えられる使い方



- ・映画上映(老若男女問はずの行事)
- ・地域のひとのコミュニティスペース
- ・子供の遊ぶところ
- ・図書館
- ・縁側を利用したBBQ

13. 北野町



日付：2015/8/15

時間：18:00-19:00

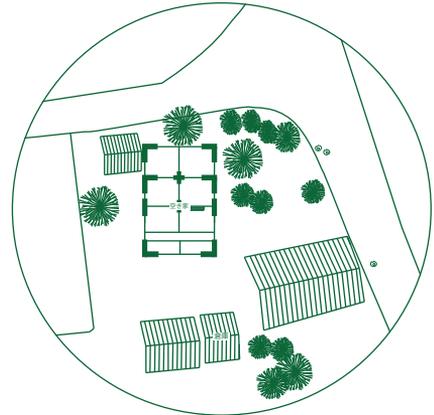
来場者：15人

アンケート回答者：15人

旧田根荘の北部扇状地扇頂部に位置する。東に山を負い、南北に開けた土地である。県道高畑、谷口線が集落の東部を南北に走り、田川上流が平行するような形で西側を流れている。

岩神社、神明社、龍王堂、日吉神社、八幡神社、北野神社、来生寺など多くの社寺が存在する。北野の集落の西南、丘陵性の山裾、現集会所西側に通称墓畑と呼ばれる一角がある。

上映場所の普段の使われ方



公会堂(5人)用途：会議・総会
神社(2人) 用途：掃除・おまいり



家(1人)・家の庭(4人)・公園(3人)・神社(1人)
広場(1人)・会館(1人)・田舎道(2人)



矢守邸にて上映



県道 277 号線

・空き家

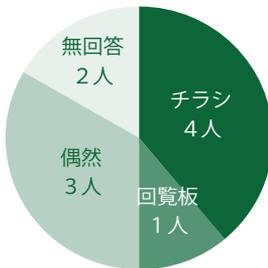
慶應義塾大学の田根での活動を知っていたか



映画の感想

- ・空き家に対する取り組みを再考するきっかけになる。(67歳)
- ・短い時間でストーリーがよくできていた。(68歳・在住68年)
- ・言葉が聞き取りにくい。(68歳・在住68年)
- ・伝えたい内容がわかりやすかった。(旅行で訪問)
- ・日本全体の問題を掲げているところがよい。(39歳・旅行で訪問)
- ・物語がおもしろかった(12歳・旅行で訪問)
- ・こういうイベントが時々あってほしい。
- ・将来、家をどのようにすればいいか考えた。

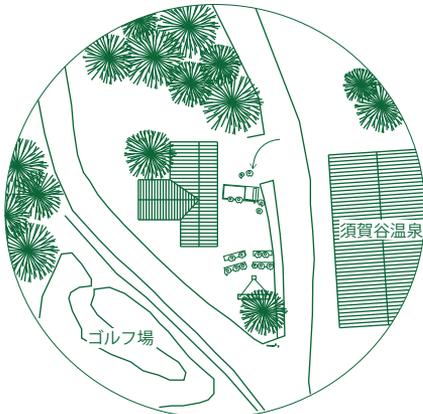
この上映会を知ったきっかけは何か



空き家をどのように使いたいか

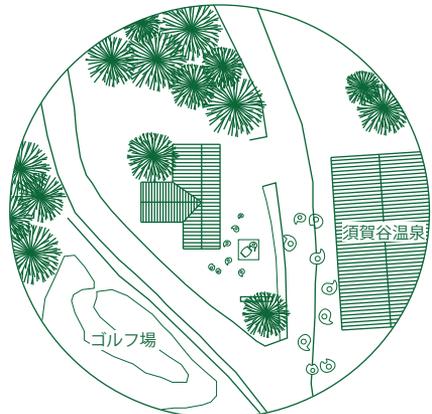
- ・借家(65歳・在住46年)
- ・美術館(旅行で訪問)
- ・パーティーや地域の人と集まる場所(12歳・旅行で訪問)

上映時の空間構成



- ・須賀谷温泉の向かい、岐れ道の間に開けた空き地がある。県道365号線から集落へ入ってきて最初に見える所で、アンケートには「村の入口」であるとの声もあがった。看板の裏に投映。

新しく考えられる使い方



- ・おどり

14. 須賀谷町



日付：2015/8/15

時間：19:30-20:30

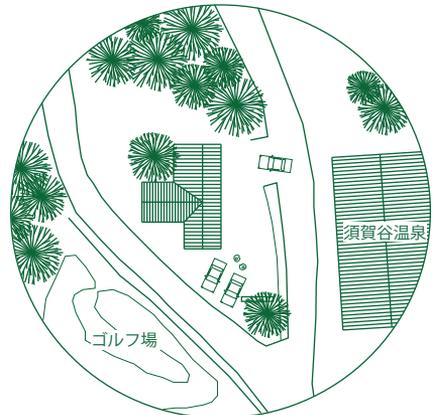
来場者：16人

アンケート回答者：10人

かつて北学区の田川と共に田川荘とよばれた集落。

中世には小谷城を中心として広大な一体を占めていたとされ、日本神話の拠点の一つである。

ランドマークとして須賀谷温泉があり、昭和3年頃から18年頃まで営業していた。その後、幾度となく温泉施設の閉鎖と新設を経て現在に至る。



神社 (2人)

用途：行事・祭典



365号線からの風景 (2人)・観音堂周辺 (1人)

ゴルフ場 (1人)



須賀谷温泉向かいの駐車スペース

・駐車場

・昔は老人ホームだった

キャラバン考察

八日間に及ぶ田根ザキャラバンを終えて、「野外上映が引き出す場所の可能性」に着目しながら、我々が野外上映会を行ったことで「場所」がどのように変わったのかを考察します。

「野外上映が引き出すその場所の可能性」

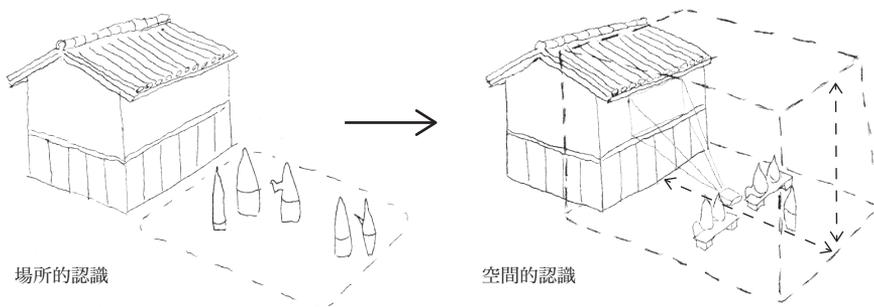
このプログラムの特徴は、投映面と客席という2つの要素から空間が構成されるということです。垂直上に立ち上がるあらゆる構造物が投映面としてなり得て、普段は広さなど平面的にしか見られていない場所に垂直方向という新しい視点を与えます。さらに客席がその垂直面に対して向き合うことで平面上の空間の向

きが定められます。この様に垂直方向と平面方向という異なる次元の視点を獲得することによって平面的な場所を空間として認識できると考えます（図1参照）。

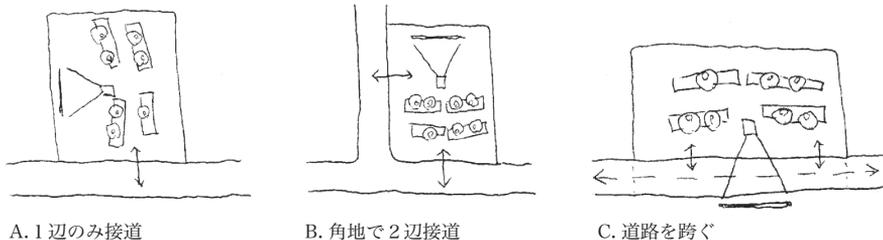
今回のキャラバンにおいて投映面として用いたものを挙げると、蔵の漆喰壁、空き家の壁、波板そしてガレージのシャッターなどの壁面があります。投映に適した壁面がない場合には、公民館の入り口、公園の遊具、神社の鐘つき堂など高い位置で水平方向に伸びた材に白幕を垂らすことで投映面を作り出しました。そこにあるものを使うことにより、地域住民の方々にとって馴染みのある物や風景の中にも何か新しい体験を誘発するきっかけとなり得ます。

また上映した場所と道路との接道関係、さらに投映面と客席の方向の違いによって、人の迎え入れ方の異

(図1)



(図2)



A. 1 辺のみ接道

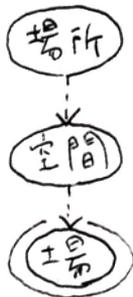
B. 角地で 2 辺接道

C. 道路を跨ぐ

なる空間が生まれます。
 全十四の集落それぞれの上映場所と道路、さらに空間の向きの組み合わせの種類は(図2)の3つになります。△の1辺のみ接道している集落が5ヶ所、□の角地で2辺接道している集落が3ヶ所、○道路を跨ぐ集落が3ヶ所、そしてその他が3集落でした。

の場合は過疎によって増えた空地であることが多いです。両隣の建物の側面に投映する為、客席が道路に対して背を向けず横向きになるに従って、来客者が入りやすい方向性を持つていると言えます。の場合は、2辺で接道している為、1辺は同様に横向きになる辺となり、もう1辺からは投映内容を確認することができません。の場合は道路を跨いで投映面と客席が配置されている為、上映空間の中に道路を内包した状態となります。

(図3)



以上の様に野外上映というプログラムを介することで、地域住民の方々が日常生活で使う平面的な場所から空間へと次元を変えた認識にすることが出来ます。またそれと同時に、その場所と周囲との関係によってその空間は求心力をもった存在へと変わることが言えます。

我々の行った田根ザシネマキャラバンでは一時的な空間を生み出すことは出来ましたが、住民の方々の継続的な空間利用によって、場所に時間軸をともなった空間が定着し、その場所を囲むコミュニティを含めた「場」と変わると考えています(図3参照)。



谷口

田根ザカラバン



木尾町



瓜生町



上野町



田根ザキャラバン



田根ザキャラバン



田根ザキャラバン



須賀谷町



野田町



田川町



北野町



高畑町



カ丸町

おわりに

二〇十六年で田根プロジェクトは、十周年を迎えます。十年もの間、学生と田根は共にゆつくりと歩みを進めてきました。私たちはこの年月に焦燥感を抱きながら、目標を追うばかりになってしまい、地域を見る目、聞く耳、そして感じる心がどんどん薄れてしまっていたと思います。今回はそんな節目に、もう一度原点に立ち帰って、私たちも地域の人も「田根」をも見直す機会にしようと思いました。

よそ者である私たちを迎えてくれる田根の風景や

人々、そこでの会話や暮らし、そんな何気ない景

色と時間を映画にして残すことにしました。この

ふるさとが無くなってしまわないように。

この地域を守り、伝えること。これは傲慢なこ

とかもしれない。ですが、その傲慢さを忘れず

に、これからも私たちは田根とゆつくり歩いて

いきます。







滋賀県長浜市田根地区
慶應義塾大学小林博人研究会

special Thanks

地域づくり協議会

虎姫高校

田根のみなさま

植谷邸

田根公民館

製作

2016年度小林博人研究会田根班メンバー

2016.01.27